

かれん
だり

虎の巻

目 次

はじめに
名入れカレンダー業界の基本理念

— 第1章 — (カレンダーの出来るまで)

 1 名入れカレンダー受注から納品まで	3
 2 サービスと効果の連動	5
 3 レイアウト	7
 4 名入れ印刷	11

— 第2章 — (カレンダー豆知識)

 5 製造工程	15
 6 カレンダーの歴史	21
 7 「国民の祝日」について	23
 8 六曜	24
 9 二十四節気	25
 10 年齢早見表	26
 11 カレンダーの分類	27
 12 カレンダーのサイズ	29
 13 紙の斤量/サイズ	31
 14 印刷豆知識	33
 15 カレンダー用語集	35

— 第3章 — (付録)

付 録

 16 暦検定	45
 17 今日は何の日!?「冠デー」	53

編集後記

はじめに

私どもの業界における日々の業務や新人教育の参考になれば、との思いから青年部会編纂による前書の「カレンダー虎の巻」が発刊されたのが3年前の平成19年。有り難いことに有効にご活用いただいている、とのお言葉を賜る機会にも恵まれました。

一方で青年部会内では、時間的な制約や不慣れな冊子編纂作業で表現しきれなかった項目など、多くの課題を残していることも実感していました。

そこで同書をより良いものにしたい、また将来の業界を担う方々のお役に立てるようにとの思いが高まり、新たな情報を加えた続編、改訂版としての構想が持ち上がりました。

説明不足であった項目や業界の実態に即した内容を取り入れるなどの議論を尽くし、全文を通しての見直し、検証作業はもとより卓上カレンダーに関する項目追加や暦検定の100問化など、作業に1年以上を費やして、ようやく完成に辿り着いた次第です。

青年部会が始めた些細な活動であり、未熟な内容も散見されるかと存じますが、この小さな冊子をきっかけに業界関係者の基礎知識の向上はもとより、広く一般の方々にもカレンダーや日本の暦文化に関心を持っていただきまして、我々が生業としているカレンダーの価値向上に少しでもお役に立てれば幸いです。

本冊子の完成にあたり、ご理解ご支援をたまわった全協役員をはじめとする会員の皆様、表紙の題字を揮毫いただいた伏見上野旭昇堂の上野会長、またご協力いただいた多くの皆様に深く感謝を申し上げます。

平成22年4月

全協青年部会長 平井 隆二

●名入れカレンダー業界の基本理念

私たちは、名入れカレンダーの製造販売を通して豊かな社会づくりに貢献します。

人類の英知と文化の結晶である「暦」から発展したカレンダーは、大切な日本文化や季節感を伝える貴重なツールであり、一方で日常生活において欠かすことのできない生活必需品です。文化と実用性を兼ね備えた、年末に最も喜ばれる価値の高い販促ギフトとして、名入れカレンダーはお客様と企業／商店との優れたコミュニケーションを実現します。

①カレンダーの商品価値を高めるために

- 間違いのない正確な製品を提供します
- アートインテリアや実用文具など、使い方に合わせた機能の充実に努めます
- 贈って喜ばれ、貰って嬉しい商品を開発します
- 人類の英知の結晶である大切な暦を守り、日本の文化や季節感を表現します
- カレンダーで自然の美しさと季節の変化を伝え、暮らしの省エネや環境保護の大切さを伝えます
- 現代社会で失われがちな人間らしい豊かな心や、使う人に癒しを与えます

②世の中に必要とされる各種サービスの充実に取り組みます

- 企業、商店の宣伝に最適、イージーオーダーカレンダーとして小口から大口まで様々な名入れに対応します
- 大切なお客様へ心のこもった贈り物として、高い品質と豊富な品揃え、正確な商品供給でお応えします
- 人と人、企業と人を結ぶコミュニケーションツール、費用対効果に優れた販売促進ギフトとして、お客様のニーズに合わせたカレンダーを提案します

1 名入れカレンダー受注から納品まで

1 問い合わせ



■注意事項

- ・カタログの写真では実際の大きさが分りにくい
- ・カレンダー業界の専門用語（B3、B4等）があり、印刷業界とでは紙のサイズの表現が違う場合がある
- ・名入れスペースと名入れ印刷寸法は違う
- ・金具なのか、ホットメルトなのか
- ・六曜はいるのか、いらぬのか
- ・何枚物が
- ・在庫があるか、ないか
- ・バラ出し不可商品
- ・包装単位、包装重量、包装形式（シュリンクパック等）

2 商品選択・受注

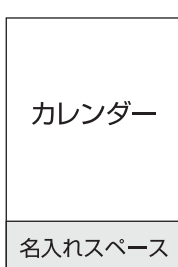


■注意事項

- ・お客様がどのくらいの部数を必要としているか
- ・予算がどのくらいか
- ・使用目的により、どのようなカレンダーを求めているのかを理解し、提案する

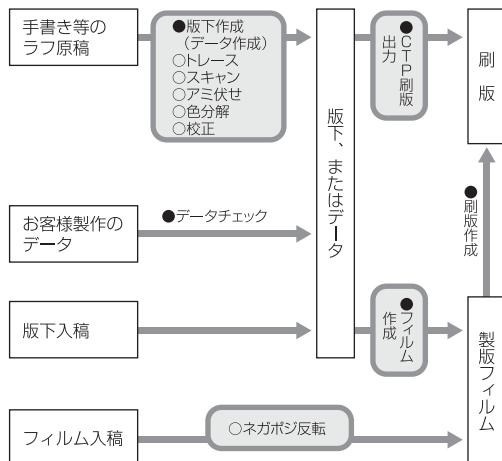
4 名入れ原稿作成の注意点

- ・カレンダー下部が広告スペースになる
- ・社名や住所等、広告したい情報をお客様から受ける
- ・お客様より注文を頂いてから、版下（印刷原稿）を作成し名入れ内容に間違いがないか確認（校正）する
- ・間違いがなければ、チャリンコ対応の版を作る
- ・校了が遅い場合は印刷の手配が遅れる
- ・印刷可能範囲はカレンダーによって異なるのでデータ作成の場合は確認が必要
- ・カレンダーの名入れデザインで、そのカレンダーのイメージが大きく変わる
- ・一般的に多いのがスミ1色での印刷であるが、特色での印刷や多色刷りも可能



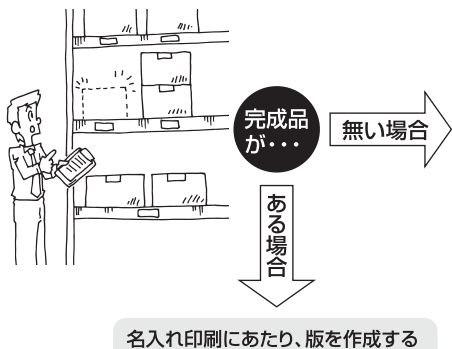
5 名入れ刷込版作成

● 必ず必要になる作業
○ 場合によって必要になる作業



3 商品発注

■発注時、製本済の商品（完成品）の在庫があるか確認



- 完成させる迄に約3～5週間ほどかかる
- 注文は、早ければ3月頃からあり、商品によって違うが、過去のデータを元に製造される
- 8月・9月になると徐々に注文が増え10月初旬にはピークを迎え、その頃に商品が無くなる可能性が高い

1年ものの商品なので残さないように製造数を計算しながら製造に取り掛かるため注文時期によってはその時点での注文数が製造数を超過している場合、次回製造分からの納品になり、時期が遅れるので注文は出来るだけ早い時期の方が良い

6 カレンダー名入れ印刷

B4切13枚文字月表ケント紙100冊スミ1色の場合
印刷工程

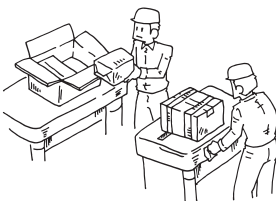
- ①必要量のインキを用意する
- ②箱からカレンダーを出し、所定の位置に置く
- ③PS版をセットし、印刷の位置を合わせる
- ④試刷り（練習用の紙で5～10枚程刷る）
- ⑤原稿どおりに印刷されていれば、印刷を開始する
（文字が印字されなかったり、欠ける場合はPS版の焼き直しもある）
- ⑥職人がカレンダーを1枚ずつめくって印刷（およそ40分前後かかる）
（破れ紙が出る可能性があるので、予備も含めて発注、又は会社の在庫を使用したりする）
- ⑦印刷が終わったら版を洗い、カレンダーの乾燥後、ポリ袋等の付属品を入れ、箱詰めをする



追記 ここでは、13枚の文字月表になっているがカレンダーのサイズ（ジャンボなどの大きいもの）や、紙質（マットコート紙などの滑りやすいもの）によって時間が異なる

7 発送

- 梱包**
- ケースに商品名、名入先名、数量等を表記する
 - 巻きシート、PPバンド等を用いて梱包する
 - 数量が多い時にはラップを巻いたり、荷崩れを防ぐ板締めをする
- 保管**
- 納入時期まで商品を保管しておく
- 発送**
- 送り状、荷札を用意し、商品に貼りつける
 - 直送、分送等、指定通りに商品を発送する



約
40日

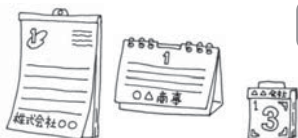


2 サービスと効果の連動

1 カレンダーの価値

お客様に
喜ばれるものを

- 生活の糧となるもの
- なくてはならないもの
- 最近各家庭で不足
- 抜群の広告宣伝ツール



・商品代

本体商品の選定

壁掛月表・

日表・卓上・・・

気に入って使って
頂くために…

2 名入れデザイン

宣伝効果を
目指して…

提案

- ロゴのカラーを考え、上品さをアピール
- 控え目なデザイン
- 大きくてインパクトのあるデザイン

効果

- ・名入れデザイン代
- ・版下代
- ・フィルム代
- ・刷版代
- ・名入代

- 自社の知名度UP、売上げUP。
- リピーター客の確保。
- 新規開拓のツール。

3 配布時期と納品方法

ご注文は
お早めに!!

- 名入れカレンダーの納期は約40日
- 10月以降の注文は大変混み合い、季節割増料金や、小口割増料金 (梱包未満のご注文)がかかる場合もある



- ・荷具代
- ・梱包代
- ・付属品代
- ※送料
- ※季節割増料金
- ※小口割増料金

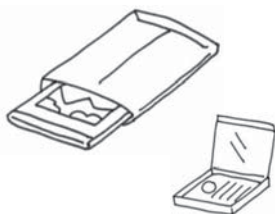
- 各支店等への直送 (広告先)
- 端数発送 (口割れ発送)
- 梱包方法 (ケース、帯、バンド)
- 付属品 (PP袋、封筒、1本箱)

4 配布方法

渡し方ひとつで
イメージUP!!

大切なお客様に向けた
サービス

- 1本ずつ1本箱に入れ、文章を添え、1冊のギフトとして配布
- 1件ずつ発送するサービス



- ・付属品代
- ・送料

5 ご予算は？

No. _____

御見積り書

平成 年 月 日

御中

下記の通りご御見積り申し上げます。

全協商事株式会社東京支店
〒123-4567 幸福市幸福町1丁目1番1号
TEL03-1234-5678 FAX03-1234-6789

合計金額 ￥

	品 名	数量	単 価	金 額	備考
	商品代	1 カレンダーの価値			
	名入れデザイン代	2 名入れデザイン			
	版下作成代				
	フィルム作成代				
	刷版代				
	名入れ代				
	荷具代				
	梱包代				
	付属品代				
	送料	3 配布時期と納品方法 4 配布方法			
	※季節割増料金				
	※小口割増料金				
	※特急料金				

合計金額				
消費税				

3 レイアウト

- ・文字組み（一般的な例）



カレンダーのご用命は

全協商事株式会社

〒123-4567 幸福市幸福町1丁目1番1号
TEL 00-0000-0000 FAX 00-0000-0000

一番売れているB4切、A2切サイズの名入れ寸法が天地約6cm 前後なので4段ぐらいまでにしておくのが一番見やすい。

カタログで「名入れスペース」と「名入れ印刷寸法」を確認する。

チャリンコ印刷する場合「名入れ印刷寸法」内に原稿が収まるようにする。

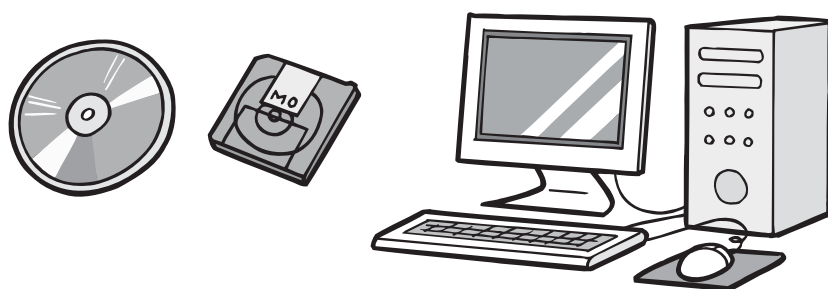
「名入れスペース」一杯でレイアウトすると印刷できない。

メーカーによってはHPからフォーマットのダウンロードができる。



◆データ原稿入稿の場合

- ・データ形式・バージョンの確認（イラストレーター・フォトショップ等）
- ・写真画像は、解像度を印刷実寸で350dpi以上にする
- ・フォントデータはアウトライン（図形）化しておく
- ・印刷前で支給メディアとWin・Macいずれが使えるか確認しておき、メディアに表記する
- ・多色刷のトンボは各色において100%で作成する
- ・データだけでなく、確認用の出力サンプルをつける
- ・パソコンのモニターなどで見る色はRGB（赤緑青）の混合で、印刷色のCMYK（青赤黄黒）とは色の性質が根本的に違うのでCMYKで、入稿してもらう



・刷位置

多いのは「中央」。次に「右寄せ」。

全協商事株式会社
〒112-8457 東京都千代田区江戸1番1号
TEL: 03-5560-0100 FAX: 03-5560-0101

全協商事株式会社
〒112-8457 東京都千代田区江戸1番1号
TEL: 03-5560-0100 FAX: 03-5560-0101

・色指定

- ・特に指定のない場合は、**スミ1色**で印刷する。
- ・色の再現については色見本を添付するのが大原則。
- ・DIC（大日本インキ）のカラーチップなどがわかりやすいので一般的。
- ・精度を求めるならチャリコ名入れではなくバラ名入れでの印入をすすめる。

■ 第1章 ーカレンダーの出来るまでー

・フォント（書体）

よく使うのは明朝（みんちょう）体、角ゴシック体、丸ゴシック体など。

この他にもさまざまなフォントがある。

文字サイズを指定する場合、「ポイント数指定」と「級数指定」と「号数指定」がある。パソコンの普及に伴い、ポイントで指定する事が多い。

書体にもよるが、読むことを前提とするなら最小でも8ポイントまでにしておかないと文字がつぶれる。

フォントそのままの場合の「正体」、横長の「平体」、縦長の「長体」、右又は左肩上りにする「斜体」など、文字を変形させることもある。

◆フォント

明朝体

全協商事株式会社

角ゴシック体

全協商事株式会社

丸ゴシック体

全協商事株式会社

◆ポイント

8ポイント

全協商事株式会社

10ポイント

全協商事株式会社

12ポイント

全協商事株式会社

14ポイント

全協商事株式会社

【校 正】

制作した名入れ原稿を得意先に提出し、OK又は変更・修正の最終確認をしてもらう。OKの事を「校了」と言い、修正の場合で再度得意先のチェックが必要ならば「再校」を提出。（以下、三校、四校と校了になるまで続く）チェックの必要がなければ責了（印刷側の責任で校了）とする。

郵便番号、電話・FAX・携帯電話番号、メールアドレスなどは、一文字でも間違えてしまうと意味をなさないので特に注意する。

できれば、提出前に社内でチェックする「内校」の習慣を日頃からつけること。

読み流してしまわぬよう、わざと文字の最後から逆にチェックする方法もある。

「校了」は可能な限り口頭でなく、日付と確認者のサインをもらい、責任を明確にする。名入れ原稿の場合は、得意先に版下のコピーをFAX送信するなどしてチェックしてもらう事が一般的である。

メールで画像化したファイルを送付する方法もある。これだと色分けについても、ある程度伝えることが出来る。

「名入れ印刷の納期40日」どうして？

コスト削減に努めている販売店、メーカーでは共に繁忙期ともなると、カレンダーの在庫を調整し始めています。特に多数の品揃えを取り扱う場合、各々のカレンダーの最終在庫（つまり売れ残り）を多数抱えてしまうことは、経営を圧迫する要因となるからです。又この売れ残りと受注数量を意識しながらメーカーは増刷していくのですが、メーカーへの発注が増刷の谷間になってしまうと納期に時間がかかってしまいます。名入れ印刷工程自体の混雑による遅延に併せて、カレンダーの仕入れに1ヶ月かかる場合もあり、納期を40日戴くことにしています。

「チャリンコ印刷の多色刷り、見当合わせ」
どうして難しい？

名入れ印刷は主に、チャリンコ印刷機を用います。

- 製本されたカレンダーを使用すること
- 1色ずつ印刷していること
- カレンダーの位置合せを手作業で行うこと
- 製本の精度に1mm程度のズレを許容していること

以上により縦、横方向の位置精度が高く要求される毛抜き合せや多色刷りは、チャリンコ印刷機で行うことは難しくなっています。そこでバラを使用しオフセット印刷機にて印刷することになるのですが、予備数量も必要とし、小ロットではかなり割高となってしまいます。

4 名入れ印刷

「営業品目」「社名」「郵便番号」「住所」「電話番号」「会社のマーク」さらに、「事業所（工場・営業所）」「営業時間」「定休日」などクライアントの内容を完成品に刷り込みます。

【印刷方法】

1. チャリンコ名入れ：チャリンコという名入れ専用機で印刷する方式
2. バラ名入れ：製本前のカレンダー（いわゆる「バラ」）に一般的なオフセット印刷機で印刷後製本する方式

・チャリンコ

平台印刷機を用いた印刷方法です。機械の動作するときの音から通称『チャリンコ』と呼ばれています。この方法では、完成品のカレンダー（天を綴じたもの）や、台紙等の厚紙など通常の印刷機では不可能なものが印刷できます。印刷機の構造は比較的単純で、机状の台の上を『胴』と呼ばれる円筒形の転写面が転がりながら往復運動をして印刷する仕組みになっています。胴が手前に来たときに印刷され、奥側に行っている間に人間が紙を1枚ずつめくります。予備紙が少なく済み、イニシャルコストも安いのですが、構造上、網点や色の再現性、見当の正確さではバラ刷りに及ばず、スピードも遅いです。また、人間が手で摘んでめくるためにめくりシワ（紙癖）がつきます。めくりシワはインク乾燥後、伸ばして箱詰めすることにより、気にならない程度まで回復しますが完全に除去は出来ません。どちらかと言えば、小ロットの印刷に向いた方法です。印刷後は、乾燥・箱詰めをしてすぐに出荷できます。



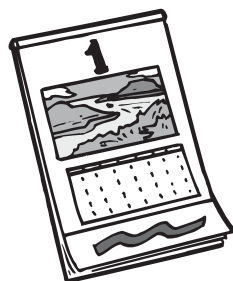
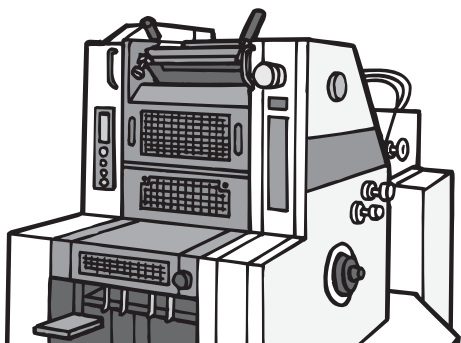
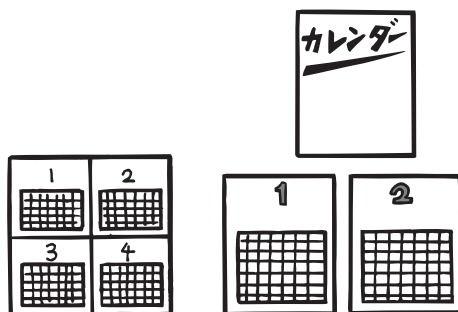
▲名入れ機（チャリンコ）



▲2色名入れ機

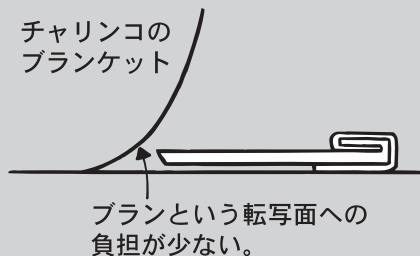
•バラ

カレンダーを製本する前の状態（1枚1枚バラバラのシート状の紙）で印刷する方法です。チラシやポスター等の一般の印刷をする際に使用する枚葉機と呼ばれる印刷機で印刷します。網点の再現性に優れ多色刷りの際の見当も正確、印刷スピードも速く、1枚あたりのコストも安いのですが、インシヤルコストが高く、多量の予備紙が必要になります。どちらかと言えば、多量の印刷に向いた方法と言えます。バラ刷りで印刷した商品は、印刷後に製本が必要になります。

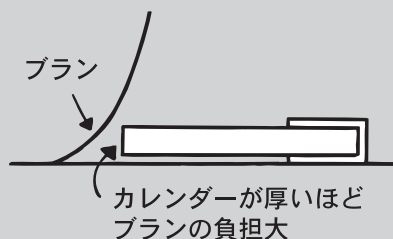


製本方法の違いによる名入れ印刷への負荷

チャリンコの
ブランケット



ブラン



名入れ印刷(卓上編)

台紙付き卓上カレンダーでは、台紙部分に名入れ印刷をするのが一般的です。「営業品目」「社名」「郵便番号」「住所」「電話番号」「会社のマーク」さらに、「事業所（工場・営業所）」「営業時間」「定休日」などクライアントの内容を完成品に印刷します。

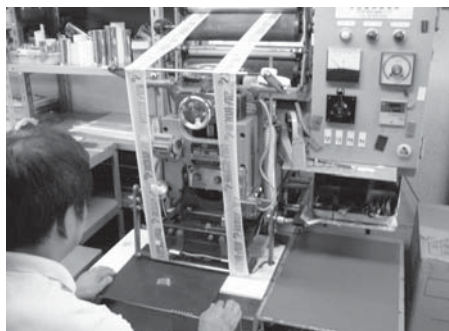
【印刷方法】

・箔押印刷

熱と圧を利用する特殊印刷（熱転写）です。適温にした凸版で箔材を印刷対象物に押し当てて印刷（転写）します。箔押の最大の特徴は、一般的な印刷と違い、金属的で豪華な存在感ある仕上がりが表現できます。

名入れに使用したい色を数種類の箔材から選べます。

スタンドタイプ・紙ケース・塩ビケース 向き



▲箔押印刷機

・シルク印刷

ナイロンメッシュ幕に感光性の乳剤を塗り、ポジフィルムを通して紫外線を照射、感光させ現像して原版を作ります。

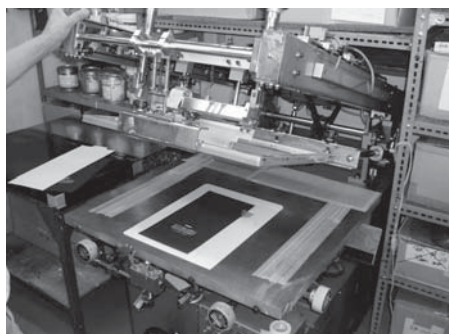
原版は、感光した部分が硬化幕となって残り、フィルムでさえぎられて感光できなかった部分がぬけています。

硬化幕のぬけている部分からインキが出て、紙は勿論、金属など被印刷物（素材）に印刷できます。

また、指定色で印刷することができ、箔押印刷より細かい図柄、文字などが印刷できます。

機械によっては多色刷りも可能。

CDケース・塩ビケース・スタンドタイプ・紙ケース 向き



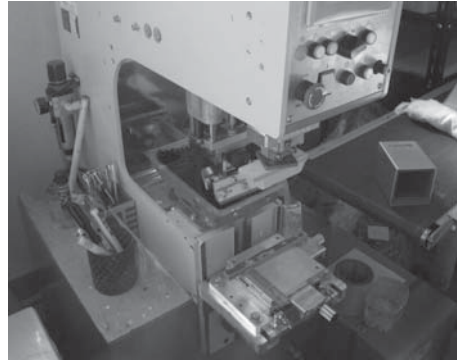
▲シルク印刷機

• パッド印刷

パッド印刷とは、版にデザインの溝を掘った凹版を使用し、凹版にあるインキを弾力性のあるシリコンゴムのパッドに付着させそのインキを平面や凹凸面に転写し、被印刷物に二次転写を行うオフセット印刷の一種です。

パッド印刷の特徴は、細かい図柄を平面から立体まで様々なアイテムに印刷することができることです。

シリコンパッドはやわらかく、押し当てるとその形状が被印刷物になじむため、曲面や、凹部の内側にも印刷できます。



CDケース・塩ビケース・スタンドタイプ・
紙ケース 向き

卓上カレンダー名入れに関する注意事項

箔押しの場合

文字のつぶれ等に注意する。

文字の大きさは9P(13級)以上でなるべくシンプルなデザイン(社名、電話番号まで)にしてもらい、行数は3行程度とする。

(悪い例)

各支店の住所、電話番号等が細かい文字でいくつも入っている場合など、大きなベタと細かい文字が両方組合わさった複雑なデザインは圧のかけ方が難しく、ベタを優先すると細かい文字がつぶれ、逆だとベタがうまぐのらないという事が起こる。こういった場合、ベタの方を優先して圧を強めに印刷する事が多く、細かい文字はつぶれる。CDケースの卓上は、凸版で圧力をかけるためケースが割れてしまう。

シルク印刷の場合

印刷対象物の色が濃い場合(黒の台紙の時など)に白色の印刷をするとグレーっぽく見える。また、エンボス系用紙の場合、凹んだ所にインキが流れる可能性がある。

材質により、インキがのりにくい場合がある。

パッド印刷の場合

細かい文字などが得意な反面、ベタで印刷するとシルク印刷よりも下地の色が出やすい。

5

製造工程

1【企 画】

製品の企画・立案です。市場の動向を考慮しながら、大きさ、枚数、紙質、紙の斤量、使用する写真・イラスト、絵柄・文字等のレイアウトやデザイン、製本の方法、印刷方法や度数（色数）、価格帯等を慎重に検討しながら決定します。



▲企画（写真の選択）

2【製 版】

カレンダー本体を印刷するための版を作成します。昔は細かい手作業で職人の腕の見せどころでしたが、現在の主流はコンピュータ上で製版データを作成しフィルムを出力、刷版に焼き付ける方法です。近年はデータから直接刷版を出力する方法（CTP）もかなり普及してきましたが、再版（同じ印刷物を反復して製作すること）を考慮して、製版フィルムに出力することが多いです。（製版フィルムからだと比較的簡単・安価に刷版を作成することが可能です。）



▲製版データ作成

3【校 正】

本体の印刷にかかる前に、出来上がった版が正しいか、また意図した色調に仕上がっているかの確認作業です。そのための試し刷りを『校正刷り』と呼び、いわば印刷物の試作品のようなものです。文字等の誤字や脱字を確認・修正するための作業を『文字校』、写真・イラスト等の色調を確認・修正するための作業を『色校』と呼ぶこともあります。

また、すべての修正を完了し印刷工程のGOサインを出すことを『校了』といいます。

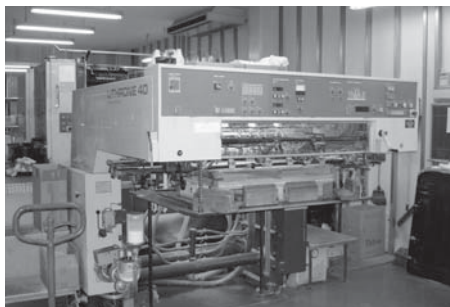
4【本体の印刷】

現在の主流はオフセット印刷です。

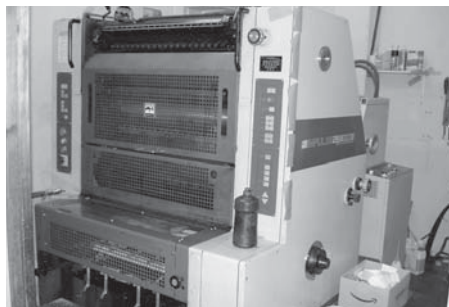
オフセット印刷機は、印刷できる用紙の大きさや形態、一度に印刷できる色数等により、さまざまな種類があります。

印刷ロット（数量）や用紙の種類を考慮して、最適な印刷機を選びます。

通常、後の製本工程のミス等を考慮して、ある程度余分に印刷しておきます。また、印刷工程自体、刷り始めや見当合わせ（多色刷りの場合、各刷色間の位置関係を合わせること）で用紙を消費するため、仕上り数よりも多めの用紙が必要になってきます。



▲菊全2色機



▲菊半単色機

5【断 裁】

カレンダーはこの作業で様々な製品の大きさに切りそろえられます。

カレンダーのサイズや印刷のロットにもよりますが、通常いくつかの月を並べて大きい紙に印刷することが多いので、各々をカットする必要があります。また、印刷の工程で印刷機が掴む部分等印刷不可能な余白が生じるのでこれを取り除く意味もあります。この工程で使用する断裁機は大きな刃物のついた機械で、ギロチン状に動き紙を切断します。その際、「ジ

ョガ」と呼ばれる紙を揃える機械を併用することが多いです。



▲断裁機



▲断裁機作動中



▲ジョガ

6【丁 合】

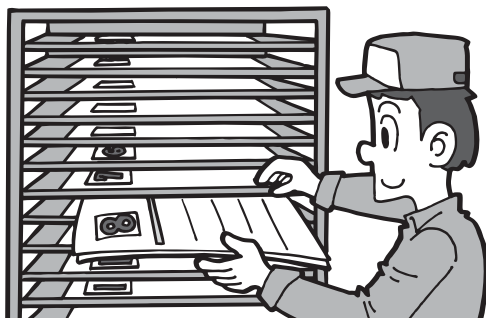
断裁の終わったカレンダーは、まだ各月毎に積み重ねられた紙の束です。これを1枚ずつ、表紙から順番に1月・2月・・・12月まで重ねて揃える作業です。昔は手作業でしたが現在は丁合機と呼ばれる機械作業が主流です。

昭和30年代までは、機械がほとんどなかったため、手作業によるところが多かったのですが、40年代以降、量産時代に入り、現在ではほとんどのカレンダーが機械で丁合されています。

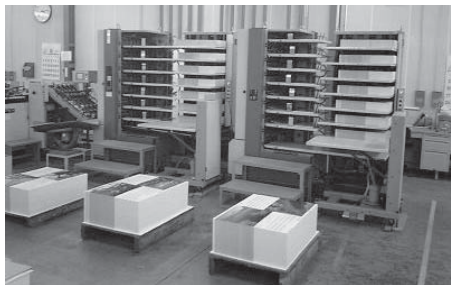
基本的には、表紙から12月まで同じ大きさなのですが、中には、最後の1枚である12月だけ長いもの（ペロ、オバケ）や、シャッターのように間に短い紙が入るタイプのものもあり、特殊な技術が必要です。



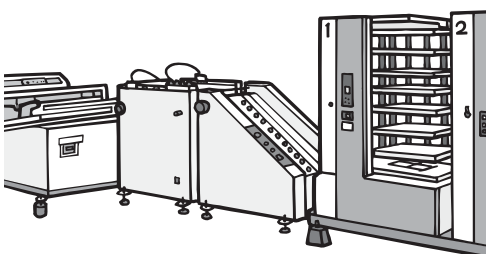
▲丁合棚



▲手丁合



▲丁合機



▲連動機

天のりとは？

『天のり』というカレンダーの上部をのりで固める作業が入ることがありますが、現在は丁合後そのまま天綴じの工程に入ることが多いです。また、紐付き製品の『紐付け』加工は、この丁合の工程と次の天綴じの工程の間に入ります。

製造工程の動画は

<http://www.zenkyo.net>

「カレンダーのできるまで」のコーナーをご参照下さい。

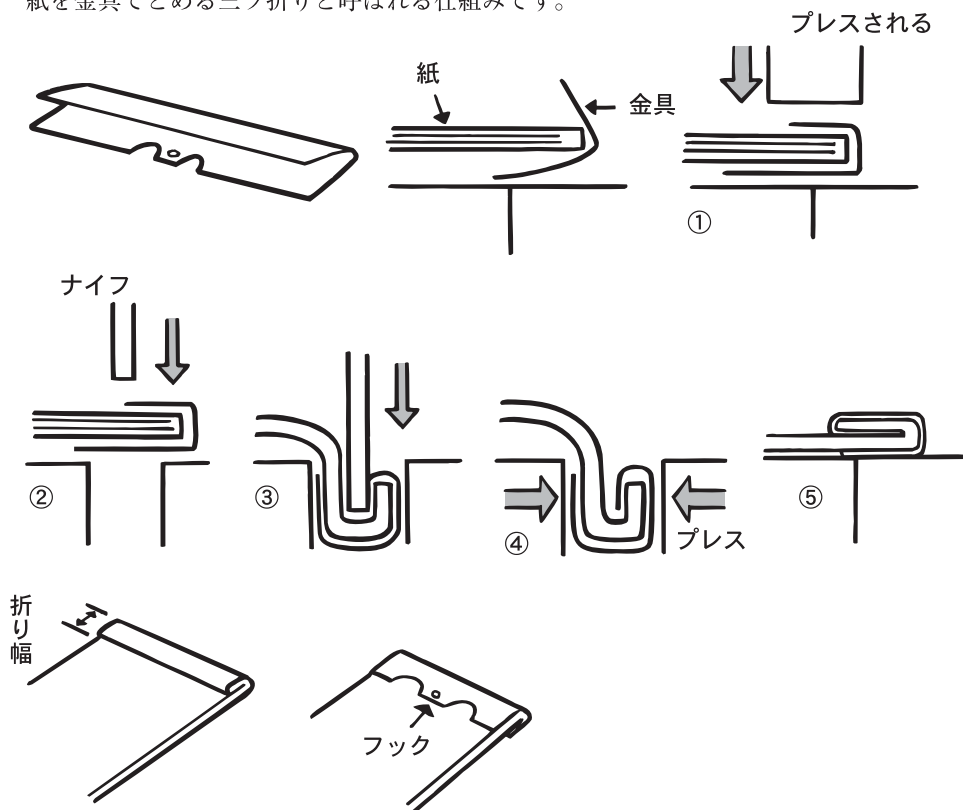


7【製 本】

◆金具製本

専用の機械でカレンダー本体の紙を綴じます。コストが安く生産性も高いので、幅広く用いられています。ホットメルト製本と比較して環境に良くないというイメージが先行しているようですが、実際には分別さえしっかりすればリサイクルの効率も良く、もともと飲料缶用に適さないB鉄製品等を利用し、彩色を施したものということもあり環境にはやさしい製品だとも言えます。

紙を金具でとめる三ツ折りと呼ばれる仕組みです。



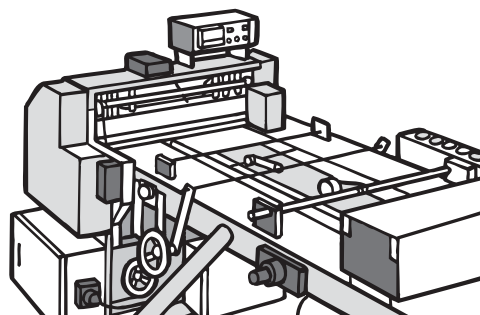
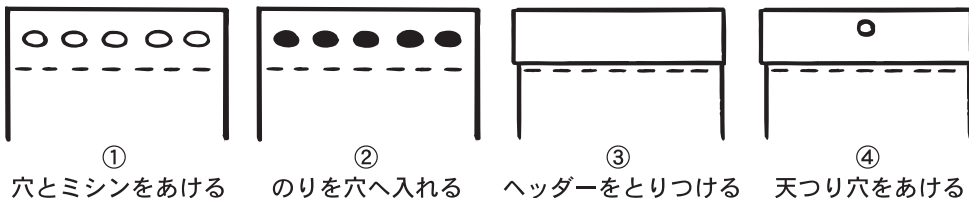
折り幅は、左右均等が原則であったり、フックの高さを巻き幅でどのあたりにもってくるのか他、シンプルな作業の中にも難しい技術があります。金具の形状も製造者、販売者、ユーザー様他、各方面からの意見があり、長年の改良の結果、怪我をしにくい現在のスタイルに至っています。なんといっても丈夫で、量産にも適しています。

■ 第2章 ーカレンダー豆知識ー

◆ホットメルト製本（エコプレス製本）

カレンダーの上部に穴を開け、その中にホットメルトと呼ばれる高温で溶ける樹脂製の糊を流し込み、ヘッダーと呼ばれる厚紙を巻いて仕上げたものです。これも専用の機械が必要になります。コストや生産効率で若干金具には劣るものの、全て紙で出来ているため環境問題等のイメージが良く、またゴミ分別の手間もいらず人気が高くなってきました。

丁合できたもの



▲金具綴じ機



▲ホットメルト製本機

ここまでで、カレンダーは完成品となり、数量を数えて箱詰めされます。

また上記の【断裁】【丁合】
【天綴じ】の工程をまとめて
【製本】と呼びます。



金具製本

もともとは、ヨーロッパで1枚のポスターを壁に掛けるために、考え出された方法のようです。日本に入ってきた時、複数枚の紙をかしめるようになって、カレンダー製本に適しているとして用いられるようになったといわれています。

環境問題が叫ばれるようになり、金具製本が反エコロジーのイメージでとらえられているようですが、そもそも再生品であり、近年、紙と金具部分を簡単に分別できるように、表面にビニールのコーティングをした製品を出している金具メーカーもあります。

ホットメルト製本（エコプレス製本）

90年代に登場したエコプレス製本は、金具に対して、紙を使用するため、ユーザー様他へのイメージが良く、急速に普及しました。

のり(メルト)は、約100℃が溶点で、それ以下になるとすぐに固まります。この性質を利用して液状にし、ヘッダーを取り付けている間に固形化する仕組みです。ヘッダーを取り付ける前に固形化すると、不良品となるわけです。

◆ダブルリング製本

本文の綴じ部分（のど）に穴を開け、金属製のツインリングを通して綴じる製本方法です。各ページを切り捨てること無く保存することができます。ダイアリーや卓上カレンダー等に最適です。



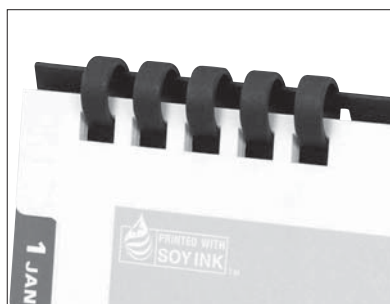
▲ダブルリング製本

◆ペーパーリング製本

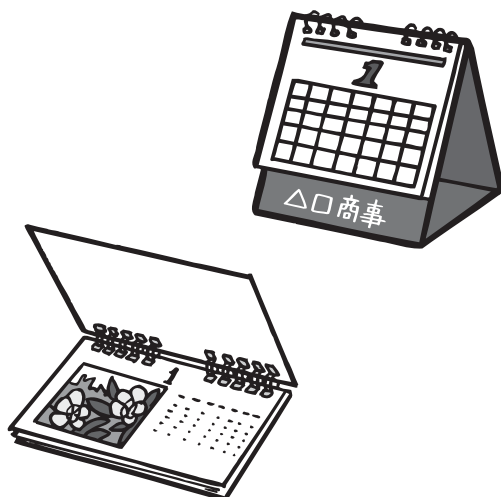
本文の綴じ部分（のど）に穴を開け、紙製のペーパーリングを通して綴じる製本方法です。各ページを切り捨てること無く保存することができます。

ペーパーリングの特徴は、リング自体に紙を使用しているので安全で且つ環境に優しく、廃棄時に分別の必要もありません。

また、リングにカラーをつけることでカレンダーによりいっそうアクセントを持たせることができます。ダイアリーや卓上カレンダー等に最適です。



▲ペーパーリング製本



6 カレンダーの歴史

●カレンダー＝暦

一年間の行事を日を追って記したもの。

古代バビロニアでは、毎夜僧侶達が、寺院の屋上に登っては、月や星を肉眼で観察していました。そこで月の満ち欠けが一定の周期で行われることを知った彼らは、太陰暦を作り出しました。これがローマに受け継がれ、ローマの僧侶達も絶えず月を観測し、新月がはじめて顔を見せた夜には、笛を鳴らして市民に知らせました。そして、その次の日を「月の最初の日」と定めて、金銭の清算をすることになります。それを「カレンダー」と言ったのです。

すなわち、カレンダーは本来「告知する・知らせる」という意味であったのですが、上述のように、次第に「金銭出納簿」の意味に変化していきます。さらに金銭ばかりではなく、ついでにいろいろな行事を書き記した帳簿を意味するようになり、やがて今のカレンダーの意味に発展してきたのです。

●日本への伝来

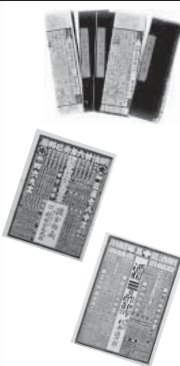
日本に暦が伝来した事については、日本書紀に「553年（欽明天皇14年）に百済へ暦博士の来朝を求めた」とあります。また、602年（推古天皇10年）に、観勒^{かんりく}が来朝して暦法を伝え、日本の学生に学習させたと記録されています。七曜は弘法大師の「宿曜経」によってもたらされたそうです。

●太陽暦への移行

現在の太陽暦（グレゴリオ暦）を使用するようになったのは1873年（明治6年）からのことです。当初の「こよみ」は小冊子の形をとったものが主流で、始めは暦屋の団体である領暦商社、1883年（明治16年）からは伊勢の神宮司庁しか発行を認められていませんでした。明治時代中頃から1枚刷りの引札略暦が大流行し、そして1903年（明治36年）には日めくりカレンダーが大阪で製造されました。日めくりは旧暦も併記され、美しい台紙に広告が入ったもので、中小商店や会社、銀行などが大量に作り、多くの人々に配布されるようになりました。今日、主流になっているカラー写真の入った月めくりカレンダーが流通するようになったのは、1945年（昭和20年）以降です。



●カレンダー年表

- | | | |
|--------------|---|--|
| 1872年（明治5年） | 11月9日に太陽暦が採用される。翌年1月より実施。 |  |
| 1883年（明治16年） | 伊勢神宮司庁からコヨミが出される。1枚摺の略歴の発行が自由となり、広告宣伝用の引礼暦が作られる。 | |
| 1887年（明治20年） | 活版刷り機械で木版刷りを始める。20年代は木版多色刷りの最盛期となる。 | |
| 1897年（明治30年） | 30年代に入ると活版印刷や石版印刷のものが登場。華麗な絵が入った引札が大流行、今日のカレンダーの先駆けとなる。 | |
| 1900年（明治33年） | 横浜で西洋風の日めくり式卓上日記が作られる。 | |
| 1902年（明治35年） | 神戸の印刷所で初めて日めくりカレンダーが試作される。 |  |
| 1903年（明治36年） | 大阪で初めて日めくりカレンダーが製造される。 | |
| 1945年（昭和20年） | コヨミの出版が自由となる。 |  |
| 1949年（昭和24年） | 月めくりや写真入り月表が売り出される。 | |

●12月3日は「カレンダーの日」

日本で現在使用している太陽暦が採用されたのは1872年（明治5年）のことです。当時、政府は「来る12月3日を新暦（太陽暦）の明治6年1月1日とする」と発表しました。それまで太陰太陽暦ですべてが動いていたのに、わずか23日後から暦が変わることになり、その混乱ぶりは想像以上のものだったようです。

しかし、この改暦は太陽暦を採用している諸外国と外交上で足並みをそろえるため、そして日本が文明国家に仲間入りしたことを海外に広くアピールするための施行でもありました。その後の日本が文明国家として大きく成長したのはいうまでもありません。大正、昭和に入るまでの社会では新しい太陽暦に則って動いてはいましたが、庶民の暮らしはまだまだ旧暦に依るところが大きかったようです。

たとえば、農村の種まきや祭礼日、親の命日などは旧暦通りに行われていました。1947年（昭和22年）の調査では「新旧暦を併用して使っている」と答えた人は、全国で44パーセントにものぼったとか。庶民の暮らしにいかに太陰太陽暦が浸透していたか、改暦当時の混乱ぶりが想像できます。ともあれ、日本国民に大きな衝撃を与えた1872年の改暦、この史実に基づき、全協によって1988年（昭和63年）に12月3日を「カレンダーの日」と決めました。

7 「国民の祝日」について

大臣官房管理室では、「国民の祝日」に関する事務を所掌しています。

■国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）

一部改正 平成26年5月30日法律第43号

平成28年1月1日施行

第1条 自由と平和を求めてやまない日本国民は、美しい風習を育てつつ、よりよき社会、より豊かな生活を築きあげるために、ここに国民こぞって祝い、感謝し、又は記念する日を定め、これを「国民の祝日」と名づける。

第2条 「国民の祝日」を次のように定める。

元日	1月1日	年のはじめを祝う。
成人の日	1月の第2月曜日	おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます。
建国記念の日	政令で定める日	建国をしのび、国を愛する心を養う。
春分の日	春分日	自然をたたえ、生物をいつくしむ。
昭和の日	4月29日	激動の日々を経て、復興を遂げた昭和の時代を顧み、国の将来に思いをいたす。
憲法記念日	5月3日	日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期する。
みどりの日	5月4日	自然に親しむとともにその恩恵に感謝し、豊かな心をはぐくむ。
こどもの日	5月5日	こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する。
海の日	7月の第3月曜日	海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う。
山の日	8月11日	山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する。
敬老の日	9月の第3月曜日	多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う。
秋分の日	秋分日	祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ。
体育の日	10月の第2月曜日	スポーツに楽しみ、健康な心身をつちかう。
文化の日	11月3日	自由と平和を愛し、文化をすすめる。
勤労感謝の日	11月23日	勤労をたっとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう。
天皇誕生日	12月23日	天皇の誕生日を祝う。

第3条

- ・「国民の祝日」は、休日とする。
- ・「国民の祝日」が日曜日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い「国民の祝日」でない日を休日とする。
- ・その前日及び翌日が「国民の祝日」である日（「国民の祝日」でない日に限る。）は、休日とする。

附則（省略）

■建国記念の日となる日を定める政令（昭和41年政令第376号）

国民の祝日に関する法律第2条に規定する建国記念の日は、2月11日とする。

附則（省略）

■「春分の日」及び「秋分の日」について

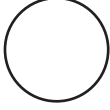
祝日のうち、「春分の日」及び「秋分の日」は、法律で具体的に月日が明記されずに、それぞれ「春分日」、「秋分日」と定められています。

「春分の日」及び「秋分の日」については、国立天文台が、毎年2月に翌年の「春分の日」、「秋分の日」を官報で公表しています。

8 六曜[ろくよう]

暦注の一種で以下の6星を旧暦に定めた日に配し、順次循環させて、それぞれの星に当たる日の吉凶を占います。

本来は古代中国の占いでした。

 せんしょう(ささかち) 先 勝 急用や訴訟などを行うのに吉の日です。 ただし午後は凶です。	 ともびき 友 引 午前、夕刻、夜は勝負なしの吉日で昼は凶。 葬儀は道連れが出るとされています。
 せんぷ(ささまけ) 先 負 静かにしているのがよい日。 公事や急用は避けます。 ただし午後は吉。	 ぶつめつ 仏 滅 移転、開店、新規事業の開始など全てにおいて悪い凶の日。
 たいあん(だいあん) 大 安 仏滅とは逆に結婚、移転、建築、旅行など全ての事に吉の日です。	 しゃくく(しゃっこう) 赤 口 赤口神が人々を悩ますため何事にも悪い凶の日。 正午のみ吉です。

9 二十四節気 [にじゅうしせつき]

一年の長さを二十四等分し、それぞれに季節にふさわしい名称を与えたもの。立春、立夏、立秋、立冬など季節をあらわす二十四の用語で、中気と節気（各十二ずつ）に分けられる。

※ 2月の始めに立春があり、8月に立秋、そして立冬が11月にあり、日本の気候の表現としては適さない面もありますが、もともと二十四節気が中国に由来するからです。

立春 [りっしゅん] 冬と春の分かれ目に当たり、節分の翌日、2月4～5日頃。八十八夜などはこの日から起算します。暦の上では春です。	立秋 [りっしゅう] 8月7～8日頃。暦の上では秋ですが、まだまだ残暑厳しい頃。しかし風や雲の色には秋の気配がなんとなくはなしに感じられます。
雨水 [うすい] 2月18日か19日頃で、立春後15日目。今まで降った雪や氷がとけて水に、雪が雨に変わって降るという意味です。	処暑 [しよしょ] 8月22～23日頃。暑さがやむの意味から処暑といえます。涼風が吹き渡る初秋の頃です。
啓蟄 [けいちつ] 3月5～6日頃。この頃になると冬ごもりをしていた虫たちが、穴を啓けて地上へ這い出してくるということから啓蟄と呼ばれています。	白露 [はくろ] 9月7～8日頃。秋分前の15日目。白露は「しらつゆ」の意味で、秋気も本格的に加わり、野草に宿るしらつゆが秋の趣を感じさせる頃です。
春分 [しゅんぶん] 3月20～21日頃。昼夜の時間がほぼ等しくなり、この日以降だんだん昼が長くなります。彼岸の中日の祝日です。	秋分 [しゅうぶん] 9月22～23日頃。彼岸の中日で国民の祝日です。昼夜の時間がほぼ等しく、雷が鳴らなくなり、虫は地中に隠れ、水が涸れ始める頃です。
清明 [せいめい] 春分後の15日目当たり4月4～5日頃。「清浄明潔」を略したといわれ春先の清らかでいきいきした様子をいったものです。	寒露 [かんろ] 10月7～9日頃。晩夏から初秋にかけて野草に宿る露のことをさします。
穀雨 [こくう] 4月19～20日頃。春の最後の節気。この頃は春雨の降ることが多くなり、農作物の成長を助け、種まきの時期を迎えます。	霜降 [そうこう] 10月23～24日頃。秋も末で霜が降りるという意味です。早朝など所によっては霜を見るようになり、冬の到来が感じられて来る頃です。
立夏 [りっか] 5月5～6日頃。野山に新緑が目立ち、いよいよ夏の気配が感じられて来るという意味ですが、気象的には春です。	立冬 [りっとう] 11月7～8日頃。冬に入る初めの節で、冬の気配がうかがえる頃です。
小満 [しょうまん] 5月20～21日頃。万物がしだいに長じて満ちるという意味から小満と呼ばれています。気象的には梅雨入りの時期です。	小雪 [しょうせつ] 11月22～23日頃。市街地では本格的な降雪はないものの、遠い山嶺の頂には白銀の雪が眺められるので小雪といえます。
芒種 [ぼうしゅ] 6月5～6日頃。芒（のぎ）のある穀物、つまり稲を植えつける季節を意味します。	大雪 [たいせつ] 12月6～7日頃。山の嶺は積雪に覆われているので大雪といえます。いよいよ冬將軍の到来が感じられる季節です。
夏至 [げし] 6月21～22日頃。北半球では昼が最も長く、反対に夜が最も短い日。夏至は夏季の真ん中で、梅雨の盛りの時期です。	冬至 [とうじ] 12月21～22日頃。北半球では太陽の高さが最も低くなるため、昼が一年で最も短く、夜が一番長くなる日です。この日は冷酒を飲み、ゆづ湯に入る習慣があります。
小暑 [しょうしょ] 7月6～7日頃。梅雨があけ、夏の太陽が照りつけ、暑さが日増しに加わってくる頃です。	小寒 [しょうかん] 1月5～6日頃。小寒とは寒気がまだピークに達していないという意味ですが、実際は本格的な冬の季節で寒気と降雪が厳しい頃です。
大暑 [たいしょ] 7月22～23日頃。ますます暑く、酷暑の季節。夏の土用はこの季節に入ります。	大寒 [だいかん] 1月20～21日頃。寒さの絶頂期。寒の入（小寒）から数えて15日目に当たります。

10

年齢早見表

生 年	西暦	干支	年齢	生 年	西暦	干支	年齢	生 年	西暦	干支	年齢
明治42	1909	己酉	101	18		癸未	67	52		丁巳	33
43	1910	庚戌	100	19		甲申	66	53		戊午	32
44		辛亥	99	20	1945	乙酉	65	54		己未	31
明治45 大正元		壬子	98	21		丙戌	64	55	1980	庚申	30
2		癸丑	97	22		丁亥	63	56		辛酉	29
3		甲寅	96	23		戊子	62	57		壬戌	28
4	1915	乙卯	95	24		己丑	61	58		癸亥	27
5		丙辰	94	25	1950	庚寅	60	59		甲子	26
6		丁巳	93	26		辛卯	59	60	1985	乙丑	25
7		戊午	92	27		壬辰	58	61		丙寅	24
8		己未	91	28		癸巳	57	62		丁卯	23
9	1920	庚申	90	29		甲午	56	63		戊辰	22
10		辛酉	89	30	1955	乙未	55	昭和64 平成元		己巳	21
11		壬戌	88	31		丙申	54	2	1990	庚午	20
12		癸亥	87	32		丁酉	53	3		辛未	19
13		甲子	86	33		戊戌	52	4		壬申	18
14	1925	乙丑	85	34		己亥	51	5		癸酉	17
大正15 昭和元		丙寅	84	35	1960	庚子	50	6		甲戌	16
2		丁卯	83	36		辛丑	49	7	1995	乙亥	15
3		戊辰	82	37		壬寅	48	8		丙子	14
4		己巳	81	38		癸卯	47	9		丁丑	13
5	1930	庚午	80	39		甲辰	46	10		戊寅	12
6		辛未	79	40	1965	乙巳	45	11		己卯	11
7		壬申	78	41		丙午	44	12	2000	庚辰	10
8		癸酉	77	42		丁未	43	13		辛巳	9
9		甲戌	76	43		戊申	42	14		壬午	8
10	1935	乙亥	75	44		己酉	41	15		癸未	7
11		丙子	74	45	1970	庚戌	40	16		甲申	6
12		丁丑	73	46		辛亥	39	17	2005	乙酉	5
13		戊寅	72	47		壬子	38	18		丙戌	4
14		己卯	71	48		癸丑	37	19		丁亥	3
15	1940	庚辰	70	49		甲寅	36	20		戊子	2
16		辛巳	69	50	1975	乙卯	35	21		己丑	1
17		壬午	68	51		丙辰	34	22	2010	庚寅	0

年齢は誕生日以後の満年齢数です。
誕生日迄の年齢数は上記年齢より1をひいて下さい。

11 カレンダーの分類

全協では、カレンダーを以下のように分類しています。

●日表（にっぴょう）＝俗にいう「日めくり」。

毎日、一枚ずつはぎ取るカレンダー。

- ・大日表
- ・小日表（＋台紙）



●月表（げっぴょう）＝月単位で暦を表示するカレンダー。

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月など一度に表示する単位によって形態が異なり、7枚もの、13枚もの、段返しなどがある。

- ・文字月表
- ・写真月表
- ・並月表
- ・フィルム



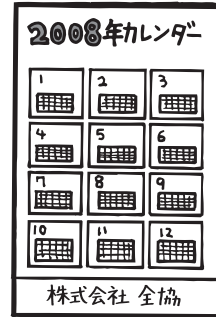
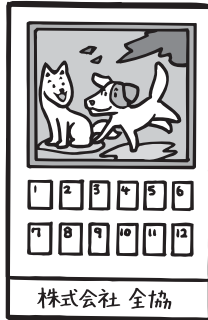
●卓上カレンダー

- ・スタンドタイプ
- ・紙ケース
- ・CDケース
- ・塩ビケース
- ・その他



●年表（ねんぴょう）＝1年12ヶ月を1枚で表現するカレンダー。

- ・紙
- ・不織布
- ・アルミ
- ・ゴブラン織



●台紙（だいし）＝日表や並月表を取り付ける厚紙。

台紙部分に名入れを施す。

- ・マニラ台紙
- ・切取台紙
- ・厚台紙
- ・ベビー台紙
- ・ウール台紙



●事務用品（じむようひん）

- ・卓上日記
- ・ダイアリー
- ・手帳
- ・予定表
- ・デスクマット
- ・その他（特殊品）



12 カレンダーのサイズ

■壁掛け

A列 (A全紙)	
A1	900×600 (900×550～600mm)
A/2切	605×425mm (600～610×420～426mm)
A/4切	430×303
A/6切	440×170mm
A倍/6切	400×425mm
B列 (46全紙)	
46/2切	740×515mm (735～775×504～520mm)
46/3切長	765×355mm (742～765×350～355mm)
46/4切	525×380mm (520～538×379～380mm)
46/6切長	525×250mm (524～535×242～254mm)
46/6切	350×380mm (350～355×380mm)
46/8切長	525×190mm (525～535×187～190mm)
46/8切	375×260mm (365～375×254～260mm)

■日 表

2号	97×61mm
3号	115×82mm、114×80mm
4号	134×99mm
5号	167×112mm、164×108mm
6号	182×121mm、185×120mm
8号	342×242mm、345×242mm
9号	264×191mm、265×195mm
10号	388×264mm、400×260mm、388×260mm
11号	537×382mm
12号	525×382mm、230×242mm

■台 紙

B列(46全紙)	
46/8切	386×260mm (355~390×235~265mm)
46/8切ヨコ	270×380mm
46/12切角	256×260mm (256~260×260mm)
46/12切	310×180mm
46/12切タテ	380×170mm
46/16切	260×170mm
46/16切ヨコ	192×260mm (187~195×260mm)
46/16切タテ	385×130mm (383~385×125~130mm)
46/20切	370×107mm
46/24切	265×128mm
46/32切	175×127mm
菊判	
菊/4切	450×300mm (445~458×295~310mm)
菊/6切	355×200mm
菊/8切	303×222mm (303~310×220~225mm)
菊/10切	305×180mm
菊/12切	310×150mm

■卓 上

台紙3角形	150×180mm (65~278×120~280mm)
紙ケース	120~179×124~195mm
塩ビケース	120×120mm (100~148×105~203mm)
CDケース	127×127mm (93~132×90~182mm)

13 紙の斤量／サイズ

■カレンダー用紙斤量

g/㎡	4/6判	B判	菊判	A判
209. ³	180	173. ⁵	125	115
157	135	130. ⁵	93. ⁵	86. ⁵
127. ⁹	110	106	76. ⁵	70. ⁵
104. ⁷	90	87	62. ⁵	57. ⁵
84. ⁹	73	71. ⁵	50. ⁵	46. ⁵
81. ⁴	70	67. ⁵	48. ⁵	44. ⁵
79. ¹	68	65. ⁵	47	43. ⁵
73. ³	63	61	43. ⁵	40. ⁵
64	55	53	38	35
52. ³	45	43. ⁵	31	28. ⁵

■カレンダー用紙寸法

単位:mm (ミリメートル)

	4/6判	B本判	B JIS	菊判	A本判	A JIS
全紙	788×1091	765×1085	728×1030	636×939	625×880	594×841
半切	788×544	765×540	728×515	636×469	625×439	594×420
3切	788×363	765×360	—	636×313	625×293	—
4切	392×544	381×540	364×515	317×469	311×439	297×420
6切角	392×363	381×360	—	317×313	311×293	—
6切長	262×544	253×540	—	212×469	208×439	—
8切	392×272	381×270	364×257	317×234	311×219	297×210
8切長	196×544	190×540	—	159×469	156×439	—
16切	196×272	190×270	182×257	159×234	156×219	148×210
32切	196×136	190×135	182×128	159×117	156×109	148×105

46／4切 (392×544)		46／2切 (788×544)	菊／4切 (317×469)		菊／2切 (636×469)
JIS B3 (364×515)			JIS A3 (297×420)		
B／4切 (381×540)			A／4切 (311×439)		
46／16切 (196×272)	46／8切 (392×272)		JIS B2 (728×515)	菊／16切 (159×234)	
JIS B5 (182×257)	JIS B4 (364×257)	JIS A5 (148×210)		JIS A4 (297×210)	
B／16切 (190×270)	B／8切 (381×270)	A／16切 (156×219)		A／8切 (311×219)	
		B／2切 (765×540)			A／2切 (625×439)

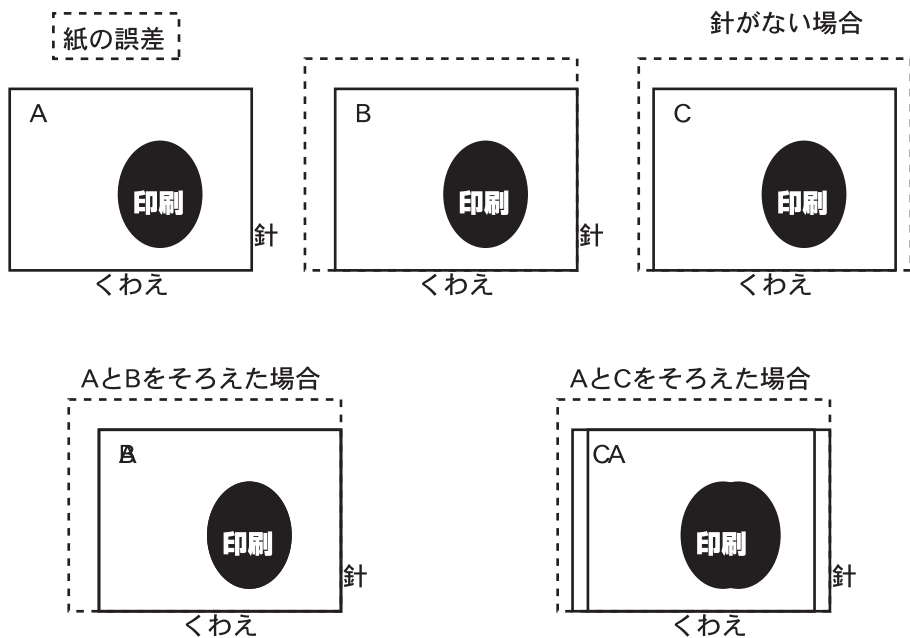
46／6切角 (392×363)		46／3切 (788×363)	菊／6切角 (317×313)		菊／3切 (636×313)
B／6切角 (381×360)		B／3切 (765×360)	A／6切角 (311×293)		A／3切 (625×293)

46／8切長 (196×544)	46／6切長 (262×544)		菊／8切長 (159×469)	菊／6切長 (212×469)	
B／8切長 (190×540)	B／6切長 (253×540)		A／8切長 (156×439)	A／6切長 (208×439)	

14 印刷豆知識

印刷用紙には枚葉紙と巻き取り紙（トイレットペーパーの巨大版）がありますが、一般的には枚葉紙を使用します。また種類もたくさんありますが、上質紙、アート紙、コート紙、マットコート紙が主にカレンダーとして用いられます。

そのどれもが、基は製紙工場で巻き取り紙として製造されますが、枚葉紙はその巻き取り紙をカットして、1枚の紙にしています。その際、現在の技術では天地左右を同じ大きさに切りそろえることが不可能なので、＜針＞と＜くわえ＞という印刷機の仕組みが必要になってきます。



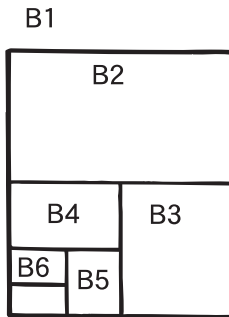
その仕組みとは、紙が印刷機をって行く際に＜くわえ＞という紙を引っぱっていく1辺と、＜針＞というくわえと垂直になる1辺を揃える技術で、紙の誤差（四六判788×1091で±1mm～2mm）に関係なく、くわえ、針、それぞれからの寸法が同じ位置になるように印刷することができます。

そうすることで、製本後の完成品にズレが無く綺麗に仕上がります。
また、毛抜きあわせなどの多色刷りでも見当ずれがなくなります。

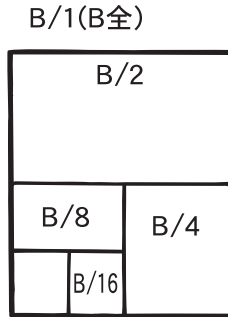
用紙の仕上がり寸法について、一般印刷業界と既製カレンダー業界では、大きさの単位が違うものがあるので、注意が必要です。

一般印刷業界(A判の場合も同じ)

既製カレンダー業界(A判の場合も同じ)



B1の半分がB2
B2の半分がB3
B3の半分がB4
という考え方



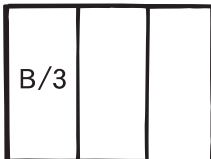
B全を何等分したかという考え方。

B/8なら、B全を8等分しているのだ。

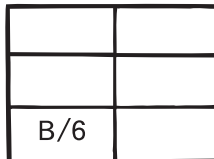
B判と46判は寸法が近いため、46判で印刷していても「B/4」などと表現するが多い

なので、B4などの表現ではなく、製品の「縦○cm×○cm」などの確認を付け加える必要があります。

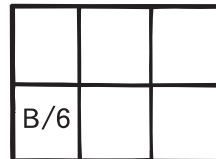
他のカレンダーの主な紙のとり都合(A判の場合も同じ)



B判を3等分している。



同じ6等分でも、縦・横2通りのB6が存在する。



15 カレンダー用語集

あ

あいし【間紙】

分類:製本 同義語:薄紙/ウス

印刷された紙の乾燥が不十分で、インクがこすれて汚れるのを防ぐためにはさみ込む紙。高速印刷物によく使われる。

あうとらいんか 【アウトライン化】

分類:製版

アウトラインとはフォントなどの輪郭を意味する。文字データのフォントの輪郭を線画に変換することにより、文字に変更はできなくなってしまうが、自由に変形させたり、PCの環境によらず文字化けを防ぐことができる。

あおやき【青焼】

分類:校正/印刷 同義語:ブループリント/BP

グラビア印刷の場合、校正刷りが出来ない為、製版フィルム(ポジ)を青写真感光紙に焼き付けて、校正紙の代用とする。線画部が青くなることから、こう呼ばれる。

あたり【アタリ】

分類:原稿 同義語:アタリケイ、ケイアタリ

本文、キャプション、見出し、写真、図版などが入る位置をレイアウト用紙に指定した線。写真や図版が入るスペースに合わせて版下台紙に引いた線のことも示す。

あつどう【圧胴】

分類:印刷

印刷される紙と版を密着させて圧力をかけるのが圧盤。それが円筒型で回転するようになっているもの。

あみてん【網点】

分類:製版 類義語:スクリーン線数

凸版、オフセット印刷で写真などの階調のあるものを再現する場合に使う。点の大きさによって濃淡を表す。1インチ幅に網点が何列あるか、網点の大きさ、細かさは線数という単位で決まっている。

いちりゅうまんばいび 【一粒万倍日】

分類:暦

一粒の種を植えても万倍になる日。他人から物を受けるのは凶。他人に物を出すのは利がある日。種蒔・投資・金銭貸し出し・地所や家屋・物を買収するため他人に支払う行為は大利あり。逆に他人からの借金は大利となる日でもある。

いっしょうばら 【一丁バラ】

分類:製本

仕上げ断ちして、ページごとになった状態のバラ。(通常500枚+5枚で包装)

いろこうせい 【色校正】

分類:校正

色指定した部分がその通りに刷られているか確認し、チェックする作業。写真版などは、正しい色で再現されているかを校正する。

いろしてい 【色指定】

分類:原稿

カラー印刷で、文字や図版などの色を決め、指示すること。基準色のかけあわせで指定する場合と、色見本をつけて指定するやり方がある。

いろぶんかい 【色分解】

分類:原稿

通常のカラー(4色)印刷では、C版(シアン)、M版(マゼンダ)、Y版(イエロー)の3色に加えて、BK版(ブラック)の4色分解ネガを作り、それぞれのインクで刷ることによって色を出す。これを4色刷りという。3色刷りは3色分解、2色刷りは2色分解となる。分解には製版カメラを使う方法と、スキャナを使用する方法がある。

いろみほんちょう
【色見本帳】 分類:原稿
インクの色を示す見本帳。特色をベタ刷りしたものと、かけ合わせで出る色を示した見本帳(カラーチャート)がある。見本を少しずつミシン目で切り離し、指定の色見本として使えるものが多いが、使用用紙に注意のこと。

えんぼす
【エンボス】 分類:用紙
型押しをして、凹凸をつけた紙。またエンボス加工とも言って、模様やマークに使うように、紙に型押しをすることも指す。

おうはん【凹版】 分類:製版/印刷
版の凹んだところにインクをつめて印刷する方法で、グラビア印刷はこの方法。版画のエッチング、エングレイピングも凹版。

おふせつといんさつ
【オフセット印刷】 分類:印刷
版に凹凸の無い平版のひとつで、現在の主流を占める印刷方式。版から一度ゴムのブランケットに転写したインクで紙に刷る方式。印刷用語としてオフセットと言うと、平版と同意であると思われるほど、両者は一体化している。

おふりん【オフ輪】 分類:製版/印刷
オフセットの輪転印刷機の略。これで印刷することを、オフ輪にかけると言う。

おもてけい
【オモテケイ】 分類:原稿 反対語:ウラケイ
活版印刷用の罫で一番細いもの。クサビ形の表側が細い罫、裏側が太い罫になっていることから、こう呼ばれる。転じて、活版印刷以外でも細い罫(0.1mm～0.2mm程度)をオモテケイと呼び、指定にも使われている。

か

がいだま【外玉】 分類:暦
日本の祝日・祭日・六曜などを抜いたカレンダーのこと。(主に外国向け)

かきもし
【書き文字】 分類:原稿
活字や写真植字によらず、印刷原稿として使用する手書きの文字。レタリング文字とも言い、見出しなどに使われる。

かけあわせ
【かけ合わせ】 分類:製版 同義語:プロセスカラー
カラー印刷で、2色以上のインクを刷り重ねて色を出すこと。ベタ・平網とも、かけ合わせが出来る。色見本帳(カラーチャート)には、かけ合わせで出した色の刷り上り見本が載っている。

かなぐづけ
【金具付け】 (P18参照) 分類:製本
丁合したカレンダーを天金具、ホットメルトなどの方法で綴じる製本の最後の工程。

かのえさる
【庚申】 分類:暦
帝釈天を祭る日。善人は大吉日、悪人は我が身を滅ぼす大悪日とも言う。身の先非を改め、善に移り向かうべき日でもある。

かぷり【カプリ】 分類:印刷
自動式名入機(ドイツ製)機械がめくる。速い。

かみやき【紙焼き】 分類:印刷
フィルムから印画紙にプリントすること、またはプリントしたもの。一般にはネガフィルムを入稿する前に、紙焼きをとる。

■ 第2章 ーカレンダー豆知識ー

- からすきやな
【カラスキャナ】** 分類:製版
自動製版機。入力走査部で光が回転ドラムに取り付けられたカラー原稿を透過し、光を電気信号に変え、コンピューターに入れ種々補充され、再び光に変換されフィルムに露光される。
- かんずり【完刷り】** 分類:印刷
完成品にチャリンコを使用し名入れすること。
- かんぜんげんこう
【完全原稿】** 分類:製版 類義語:版下
印刷所に入稿する際、指定・レイアウトが完全になされていて、すぐに製版にかかれる状態の原稿。
- かんぶ【カンブ】** 分類:原稿
仕上がった時にどのようなかを、わかり易く示したスケッチ。プレゼンテーション用の資料。
色付のカンブのことを色付カンブまたはカラーカンブという。
- かんぶつえ
【灌仏会】** 分類:暦
花祭りとも言う。お釈迦様誕生のお祭り日で、その像に甘茶を注ぐ風習がある。
毎年4月8日。
- きくはん【菊判】** 分類:用紙
A列本判よりやや大きい、JIS規格外(旧規格)の原紙寸法636×939mm。
- ぎゃくちょうばら
【逆丁バラ】** 分類:製本
12月が先頭で表紙が最後になるように丁合した状態のバラ。(バラ名入れ印刷をした後、丁合する必要がなくなる。)
- きゅうすう【級数】** 分類:原稿
文字の大きさを表す単位。1級は1/4mm=0.25mmとなる。
- きよずり【清刷り】** 分類:印刷
活字組み版など、凸版をオフセットやグラビア印刷のための原稿として、アート紙のように白地の滑らかな紙に高い精度で印刷したもの。あるいは、保存用や校正用として、小部数を特に上質の紙に刷った印刷物。
- きりぬき
【切り抜き】** 分類:原稿
主に写真原稿で、人物や商品などの必要部分のみを使い、他をカットすること。
輪郭がぼやけたものは、切り抜きが不自然で適さない。
- きろれんりょう
【キロ連量】** 分類:用紙 同義語:連量 類義語:斤量
印刷用紙の重さの単位。全判1000枚を1連として、その重さをkg(キロ)で表示する。キロ数が少なくなれば、紙は薄いということになる。
- きんりょう【斤量】** 分類:用紙 類義語:キロ連量/連量
印刷用紙の重さの単位。全判500枚を1連として、その重さを斤で表示した。
1958年のメートル法施行以後はキロ連量に統一されているが、慣用からキロ連量の意味で斤量と呼ぶことがある。
- くみみほん
【組見本】** 既製カレンダーメーカーが全商品を全種類1冊ずつを見本箱に入れたもの。

**ぐらでーしょん
【グラデーション】**

分類:製版

写真や絵などが持つなだらかな調子(特に明度)の変化。グラデーションのあるものを印刷再現するには網点が必要。また、網フセでグラデーションを指定する場合は、ボカシ網、グラ網と指定し、エアーブラシなどで作った版下を用意すると、意図通りのグラデーションが得られる。

**ぐらびあいんさつ
【グラビア印刷】**

分類:印刷

同義語:コンベンショナル・グラビア

類義語:ニューグラビア/網グラビア

凹版印刷のひとつ。銅版に焼きつけた版の凹部にインクをためて刷るやり方。調子の再現が良いため、写真の再現によく使われている。転じて、写真頁をグラビア頁と呼ぶ。

けい【罫】

分類:原稿

類義語:オモテ罫・ウラ罫・飾り罫

線の総称。罫には太さ、形状に応じて様々な種類があり、単に罫とただけでは、指定にならない。

げはん【下版】

分類:印刷

校了になった台を製版、印刷工程に回すこと。下版してからの直し、変更は原則として出来ない。

げんあと【原後】

分類:原稿

名入れ原稿が注文時に揃わない名入れの注文。品切れにならないように、予約で商品確保する際に取り交わされる注文方式。

**けんとうあわせ
【見当合わせ】**

分類:印刷

同義語:トンボ合わせ

2色以上のカラー印刷や、紙の両面に印刷をする場合など、各刷版が印刷される位置関係を合わせること。見当が合わなければ、版ズレが起こる。

こうせい【校正】

分類:校正

レイアウト通りの製版に誤りがないかどうか、確認する作業。

**こうせいし
【校正紙】**

分類:校正

類義語:校正刷り/初校/再校/念校/責了

校正をするための刷り物。関係者だけに見せるため、少数部しか刷らない。

**こうせいずり
【校正刷り】**

分類:校正

完成した4版の網ポジ原版を金属板に焼き付け校正用刷版を作り、自動校正機にかけて出来た校正紙のこと。(色校正のために試しに刷った印刷物)

こうりょう【校了】

分類:校正

校正が終わり、赤字が入らない状態。校了と記された校正紙を校了紙という。

**こーとし
【コート紙】**

分類:用紙

類義語:アート紙

紙の表面に顔料をつけ、機械で均一に表面処理をして艶をつけた印刷用紙。アート紙よりは顔料が少なく、印刷効果はアート紙に一歩譲る。値段もアート紙より安い。

**ごしゅくたい
【ゴシック体】**

分類:原稿

同義語:ゴシ/ゴチック/ゴチ

書体のひとつで、縦線も横線も同じ太さの文字。写真植字では、ゴシックにも様々なバリエーションがある。活版でいうゴシックは写真植字のBG(太ゴシック)に当たる。

■ 第2章 ーカレンダー豆知識ー

ごしょく【誤植】

分類:校正

活版印刷、写真植字で誤って植字した文字の間違いを一括して誤植という。誤字のある原稿をそのまま植字したのも、誤植として校正しなければならない。

さ

ざいこ【在庫】

通常は実際にある製品の数量を指すが、カレンダーの場合は往々にして注文可能数量のことを在庫と言う。この場合は未だ製造中ないし製造予定の場合を含む。特に実際にある数量のことを確定する場合に完成品在庫、バラ在庫のような言い方をすることもある。また、販売店がメーカー在庫のことを在庫と言うこともあるので、この場合は取り寄せになる。

さいこう【再校】

分類:校正

2度目の校正紙。初校に赤字がたくさん入っているため、校了に出来ない場合に再校を出す。

さいはん【再版】

分類:印刷

初版と同じ版を使用し、同一のものを再び印刷する事。

さっぱん【刷版】

分類:印刷

印刷機にかけるために、金属・樹脂版やPS版に焼き付けた版のこと。

さんりんぼう 【三隣亡】

分類:暦

三りんぼうとも書く。宇宙創造の霊とする三輪宝を祭す日。祖先を崇拝し、その恩沢を感謝する日。この日は、十二支の活動が凶変を表すと言われ、他事には差し支えないが、普請(ふしん)・造作を為せば隣三軒まで災害を及ぼすとも言われている。故に、普請・柱立て・棟上げ等は避けるべき日だと言う。

※普請:土木・建築などの工事をする事。

しーていーぴー 【CTP】

分類:製版

コンピューター・トゥ・プレート(Computer to Plate)の略。従来、DTPがデータからフィルムもしくは印画紙を出力していたのに対し、直接刷版を出力する場合の印刷工程上の表現。これに対しフィルムから刷版を作成するのはFTP(Film To Plate)。

してい【指定】

分類:印刷

原稿を意図通りに印刷するため、指示を書き加えること、または指示そのもの。文章や図版、写真の処理、レイアウトなど一切を指定し、印刷所に伝える。

しゃしんげつぴょう 【写真月表】

分類:カレンダーの分類

写真やイラストなどが載っているカレンダー。

しゃしんしょくじ 【写真植字】

分類:原稿 同義語:写植

写真の原理を応用した写真植字機によって印画紙に焼き付けた文字や記号。文字盤からの拡大や縮小、変形が自由に出来る書体や罫の種類が多い。

じゅしばん 【樹脂版】

分類:製版

樹脂でできた版を使用し、凹凸した版の凸部分にインクをのせ紙に押し付けて印刷する。あまり小さい文字はつぶれることがあり、網点の印刷には向かない。

しょくじ【植字】

分類:原稿

活字を使って組み版をつくる作業。

**じょうしつし
【上質紙】**

分類:用紙
印刷用紙のうち、JIS規格の印刷用紙Aに当たる紙。ポスターや書籍の本文用紙によく見られる。

しょうこう【初校】

分類:校正
印刷所に入稿したものが、指定通り製版されているか、チェックのため出す最初の校正刷り。初校に赤字を入れて、訂正した上で出す2度目の校正刷りを再校と呼ぶ。通常の印刷物では再校で校了、あるいは責了になることが多いが、赤字の内容によって三校、四校…と続けることもある。

**すきやな
【スキャナ】**

分類:製版 同義語:PDI/PDIスキャナ
円筒型のドラムに写真原稿やイラスト原稿を巻きつけて、ドラム内部からの光の走査(スキャン)によって濃淡を電気信号に変え、さらに光の走査によって露光された分解ネガを得る機械。従来の製版カメラによる分解に対して、電子製版と呼ばれる。

**すくりんせんすう
【スクリーン線数】**

分類:製版
網点をつくるためのスクリーンの細かさを示すもの。1インチの幅に何本の線があるかによって80線、150線などに分かれる。線数が多い程、表現が緻密になるが、印刷される紙との適正があるので、線数が多い程印刷の上がりが良いとは言えない。

すみ【スミ】

分類:製版/校正/印刷
墨インクのこと。ブラック、略してBL又はBKとも書く。1色刷りで、印刷所に対して特別の指定をしない場合には、墨インクによる1色刷りと判断される。

すりいろ【刷り色】

分類:印刷
印刷するインクの色。1色印刷で、スミ以外の色を使いたい場合は、色見本帳で指定するか、印刷所の提示するインク見本の中から選んで指定する。

**すりだし
【刷り出し】**

分類:印刷
校了後、印刷を始めたものの見本。印刷物の最終確認をするためのものだが、ここで訂正をすることは、印刷所にとって、いわば緊急事態になるので、校正の段階で充分注意すべきである。

すりとり【刷り取り】

分類:印刷
名入れされたカレンダーから名入れ部分だけを取り除いた部分そのもの。

すりほん【刷り本】

分類:印刷/製本
印刷が終わり、製本工程に入る印刷物。刷り本は普通製本部数よりやや多くして、予備を取っておく。

せいはん【製版】

分類:製版
印刷のために、原稿から版を作ること。印刷方式によって工程や形状が違う。

せきりょう【責了】

分類:校正
責任校了の略。校正の訂正箇所が少ない場合、印刷所の責任で直し、校了すること。それ以後校正刷りは出さずに下版する。責了となった校正紙を責了紙と呼ぶ。

せんばつ【選抜】

自社で販売するカレンダーを、各メーカーのサンプルから選ぶこと。例年3月中に行われる。

■ 第2章 ーカレンダー豆知識ー

ぜんばら【全バラ】 分類:印刷
印刷して製本前の印刷物の状態。刷り本。

ぜんばん【全判】 分類:用紙
A列、B列など、各サイズに裁つ前の印刷用紙。

た **たため【縦目】** 分類:用紙
紙の繊維の流れの方向を表す紙の「目」が、用紙の長辺と平行となる場合をいう。この方向と垂直な方向に用紙が反りやすい傾向を持つ。

たま【玉】 分類:原稿
カレンダーの数字のこと。1月～12月の月数を月玉、日数を日玉という。

だんさい【断裁】 (P16参照) 分類:製本
主に断裁機で紙を正確な寸法に切る。

ちゃりんこ【チャリンコ】 分類:名入れ
手動式名入れ機。1枚刷るごとに、人間が手でめくっていく。めくる際に、指でつまむ為、「めくりじわ」と呼ばれる折目がつくこともある。

ちょうあい【丁合】 (P17参照) 分類:製本
月表・日表の頁を順番通りに並べ組み合わせる作業。

つかみほん【束見本】 分類:製本
本の束がどれくらいになるかを見て検討するため、実際に印刷する用紙で製本所に作ってもらう見本。

でーてーいーぴー【DTP】 分類:製版/印刷
(Desktop publishing、デスクトップパブリッシング)とは、日本語で卓上出版を意味し、印刷物の編集に際して行う割り付けなどの作業をコンピュータ上で行い、プリンターで出力を行うこと。

でゅーぶ【デュープ】 分類:製版
デュプリケーションの略。オリジナル写真を複写したフィルム、あるいは製版フィルムからつくった複版のこと。

でんさんしゃしよく【電算写植】 分類:原稿
コンピュータを使った写植システムで、現在では文字盤は姿を消し、字形を記憶させた磁気ディスクを使い、文字はデジタル化されたドットで出力し構成される。

てんち【天地】 分類:印刷
上と下、又は上から下の意。両面印刷の場合など、特に天地を間違えないように気をつける。

てんのり【天のり】 分類:製本
丁合ができた後に、天の方に糊をつけて固めること。

とくしょく【特色】 分類:印刷
通常印刷では、アイ・アカ・キ・スミ(C/M/Y/BK)の4色で印刷されるが、この4色以外の色のこと。(例えば金・銀など)カレンダー名入の場合は、自社指定の基本数色(例えばスミ、金赤、紺藍など)以外の色。

どぶ【ドブ】 分類:印刷
印刷する上で、必要な空き。仕上がり寸法より余分に取り。断裁の場合、3mm以上必要とする。

とんぼ【トンボ】 分類:製版/印刷
見当合わせのための目印。版面の外にあり、十字型で昆虫のトンボを連想させるため、こう呼ばれる。十字型以外に、四隅を合わせるものもある。

とりみんぐ【トリミング】 分類:原稿
主として、写真原稿に画面の任意の部分だけを抜き出して使うこと。一部を角版や丸窓で使う場合に言う。トリムは英語で刈り込むの意。

な

ないれいんさつすんぼう【名入れ印刷寸法】 分類:名入れ
チャリコで名入れ出来る最大寸法。(センター名入れ基準にて) 通常名入れスペースより天地各7～10mm、左右20～25mm内側になる。

ないれすぺーす【名入れスペース】 分類:名入れ
カレンダーの名入れ用余白部分全体。チャリコ名入れでは、このスペースいっぱいに入れない。実際にはノンブルが入っていたりすることが多いので、バラ刷りでもいっばいに入れないことが多い。

にっぴょう【日表】 分類:カレンダーの分類
1日毎にめくるカレンダー。日めくりカレンダーのこと。

にゅうこう【入稿】 分類:校正
指定した原稿を印刷所に渡すこと。印刷所に入れる、という言い方もする。

ねが【ネガ】 分類:原稿
明暗が実際と逆になっている状態。またそのフィルム。ほとんどの場合は、ネガフィルムを指す。文字などを反転して印刷に使用する場合は、反転使用と指示して入稿する。

ねんこう【念校】 分類:校正
校了、責了になる前に念のためにする校正、またはその校正紙。念校を待って校了、責了となることも多い。

ねんぴょう【年表】 分類:カレンダーの分類
1枚の用紙に1月～12月まで1年間載っているカレンダー。

は

ばら【バラ】 分類:製本
印刷されたままの状態の印刷物を全バラ。1丁に断裁されたものを1丁バラと言う。

ばらざいこ【バラ在庫】 多色刷りや見当物、ページ差替え、グラデーション、大ロットの印刷などチャリコではなく、一般のオフセット印刷機で印刷するために製本しないで、バラのまま置いてある半製品の在庫。これが無いと、バラ刷りは出来ない。

ばらずり【バラ刷り】 分類:印刷
印刷したものを製本加工する前に名入れすること。そのあと製本する。

■ 第2章 ーカレンダー豆知識ー

はんした【版下】

分類:原稿
写真、文字などの原稿の中で、製版出来る状態のもの。従って、版下は完全原稿とも言える。

ピーえすばん 【PS版】

分類:製版
オフセット印刷に用いる金属版で、研磨したり感光液を塗る手間のいらぬ新しい版。Pre-Sensitizedの版の略。アルミ版にあらかじめ感光剤が塗布されている。

ビーばん【B判】

分類:用紙
JISで定められている紙の寸法。B6判(128×182mm)からB1判(728×1030mm)の6種類。B判の元々の紙であるB列本番(B全判)は765×1085mm。

ひらあみ【平網】

分類:製版 同義語:無地網/素網
均一な網点の濃度を持つスクリーン。グラデーションのついたスクリーンと区別し平網という。

ひらだいいんさつ 【平台印刷】

分類:印刷
輪転機が版と紙を円筒状に巻くのに対し、版を平らな状態にして刷ること。印刷用紙は枚葉紙を使う。

ふくはん【複版】

分類:製版
多面付けで刷版を焼き付けるために、ある製版フィルム(網ポジ、あるいは網ネガ)から作った同じフィルムのこと。切り貼した製版フィルムを1枚の原版にするためにも使う。

ふおーくりふと 【フォークリフト】

荷物を積んだパレットの移動やトラックなどの積み込みに使う乗り物。
軽油や充電式で作動するもの、立ち乗りのブラッターや爪の長いもの・高いところにも上げられるものなど様々なタイプがある。

ふじょうじゅにち 【不成就日】

分類:暦
何事も成就せず、諸々の立願等は殊に忌むべき日。諸芸事始め・名付け・開業・開店には凶日となる。

ぶんかい【分解】

分類:製版
2色以上の多色印刷の製版において、色数に合わせ各色ごとのネガやポジを撮ること。グラデーションのあるものは、分解、網取りをして製版する。

ほいんと 【ポイント】

分類:原稿
文字の大きさを表す単位。1ポイントは1/72inchで0.3514mmとなる。

ほじ【ポジ】

分類:製版 同義語:陽画/ポジティブ 反義語:ネガ
写真画像の明暗が実際と同じ画面。写真原稿でポジフィルムと言えば、リバーサル(スライド用)フィルムのこと。

ほんすり【本刷り】

分類:印刷 反義語:校正刷り
校了になった版を下版し、指定数印刷すること。

ま

まいようし 【枚葉紙】

分類:用紙 同義語:シート紙 反義語:巻取紙
A判、B判など、ある寸法に裁断された印刷用紙。キロ連量で取引される。

まき【巻き】

同義語:巻きボール、巻きダン、巻きシート、おび(帯)
荷造り時に中身の保全のため、ケースを外から巻くダンボール。

**まきとりし
【巻取紙】**

分類:用紙 同義語:ロール紙 反義語:枚葉紙
裁断せず、長いまま巻いてある印刷用紙。輪転印刷に使用する。

まるかん【丸】

通常、月表で使う言葉。完成品のこと。カレンダーの製本済み製品の総称。

**みずなしんさつ
【水なし印刷】**

分類:印刷
印刷工程において水をまったく使用しないで印刷する方法。
揮発性有機物や廃液を発生させないため、環境対応型の印刷とされる。

**みんちょうたい
【明朝体】**

分類:原稿
本文によく使用される書体。横の線が細く、縦の線が太い。写植では、線の太さによって、細明朝体から太明朝体までのバリエーションがある。

むじるし【無印】

名入れ印刷の無い状態の製品の総称。

**もじげっぴょう
【文字月表】**

分類:カレンダーの分類 同義語:数字月表
文字のみのカレンダー。この場合、文字とは玉(数字)のことを意味する。

**もじこうせい
【文字校正】**

分類:校正
文字が指定通り打たれているか、チェックすること。文字校正にはJISで決められた校正記号を用いる。

や**やれがみ【破れ紙】**

分類:印刷 類義語:損紙
印刷の刷り出しや、色むら、汚れ等の仕損じや、不良品のこと。

ようし【洋紙】

分類:用紙 反義語:和紙
西洋式の製紙方法を起源に、機械によって作られる紙。現在流通している紙の大部分が洋紙である。

よこめ【横目】

分類:用紙
紙の繊維の流れの方向を表す紙の「目」が、用紙の短辺と平行となる場合をいう。この方向と垂直な方向に用紙が反りやすい傾向を持つ。

**よんしよくぶんかい
【4色分解】**

分類:製版 類義語:2色製版、3色製版、色分解
カラー原稿を4色刷りで再現するため、C、M、Y、BKの4色に分けたネガ、あるいはポジを作ること。分解に際しては、製版カメラ、あるいはスキャナを使う。

ら**らくちょう【落丁】**

分類:製本 類義語:乱丁
カレンダーの頁が一部抜け落ちていること。丁合をとる際のトラブル。

らんちょう【乱丁】

分類:製本
カレンダーの頁順が狂ったり、一部上下が逆になるなどのこと。丁合をとる際のトラブル。

**れたっち
【レタッチ】**

分類:製版 類義語:ネガ塗り/マスキング
写真フィルムや製版フィルムに対して行われる修正。手作業でコントラストや色カブリを補正したり、傷を消したりする。

- Q1) 二十四節気の内一年で最も夜の長い日と言われる日は？
①大雪 ③小寒
②冬至 ④大寒
- Q2) 振替休日は当時天皇誕生日（現、昭和の日）に初めて制定されましたが、最初に制定された年はいつ？
①1948年 ③1965年
②1956年 ④1973年
- Q3) 2009年9月に敬老の日と秋分の日に挟まれて国民の休日でしたが、次回敬老の日と秋分の日に挟まれる国民の休日は何年になるか？
①2013年 ③2017年
②2015年 ④2019年
- Q4) うなぎを食べる日は次の内どれか？
①土用の午 ③土用の未
②土用の申 ④土用の丑
- Q5) 盆は元々いつを中心とした行事か？
①新暦7月15日前後
②旧暦7月15日前後
③新暦8月15日前後
④旧暦8月15日前後
- Q6) 旧暦の月初めで六曜の順番が変わりますが、旧5月1日の六曜は何にあたるか？
①先勝 ③先負
②赤口 ④大安
- Q7) カレンダーの語源元は次の内どこから来たか？
①アジア ③アフリカ
②ヨーロッパ ④アメリカ
- Q8) 日本に暦が伝えられたのはいつか？
①3世紀 ③5世紀
②4世紀 ④6世紀
- Q9) ハッピーマンデー法が初めて施行されたのはいつか？
①1998年1月1日
②1999年1月1日
③2000年1月1日
④2001年1月1日
- Q10) カレンダーの語源は次の内どれか？
①カレンダジスタ
②カレンダレン
③カレンダリウム
④カレンダリン
- Q11) 次のうち、日本の祝日でない日はどれか？
①みどりの日 ③こどもの日
②母の日 ④敬老の日
- Q12) 日本では『六曜』を主に冠婚葬祭などの行事に結び付けて使用しており、結婚式等は「大安」が良いとされています。ではお葬式で避けるべきではないのは？
- Q13) 12ヶ月を陰暦の名称で表した場合「__月」とならない月はいくつあるか？
- Q14) 「端午の節句」等の「節句」は一年で何度あるか？
- Q15) 弥生とは4月である、○か×か？

- Q16) 現在の日本の祝日で最も新しく出来た祝日は「海の日」である。○か×か？
- Q17) 結婚や開店、移転や金銭その他の契約をするには凶。また、物が成立せず思い立ちや願い事も凶のため、万事見合わせた方が良くいとされる日のことを何と言うか？
- Q18) 商売始めや開店、種蒔き、株などの投資、土地家屋の購入などは吉であるが、借金や借り物をするには凶とされる日を何と言うか？
- Q19) 普請、棟上げ、土おこし、修繕など、建築関係の仕事を忌む日で、これに背いて建築を行うと近隣三軒焼き滅ぶと言われる日を何と言うか？
- Q20) 冬の陰気に閉ざされた万物に、春の陽気が立ち初めると言う意味で、新暦の2月4日頃に当たる日を何と言うか？
- Q21) 春分の日、秋分の日を中日として、それぞれの前後三日間を何と言うか？
- Q22) 用紙規格である46全判の紙のサイズを何mmで言うと？
- Q23) 用紙規格である46/110kgの用紙を菊判の紙に換算すると何kgか？
- Q24) 「国民の祝日」に関する事務を所掌している組織は？
- Q25) カレンダーの曜日が日曜日から始まるいわれは？
 ①キリストが復活したとされているから
 ②太陽に神がやどるとされていたから
 ③ローマ帝国で週の始めが休日であったから
 ④太陽が太陽系の中心だから
- Q26) 旧暦毎月一日での月の満ち欠けはどれ？
 ①満月 ③月食
 ②半月 ④新月
- Q27) 六曜の順番は何によって決まっているか？
 ①春分の日起算の日にちのみによる
 ②旧暦の月日のみによる
 ③旧暦の日にちのみによる
 ④立春起算の日にちのみによる
- Q28) 旧暦の月名を決める由来は？
 ①二十四節気の節気
 ②二十四節気の中気
 ③月の視黄経度
 ④月の満ち欠け
- Q29) グレゴリオ暦の閏年で正しくないものはどれか？
 ①西暦1400年は閏年ではない
 ②西暦1900年は閏年ではない
 ③西暦2000年は閏年ではない
 ④西暦2001年は閏年ではない
- Q30) グレゴリオ暦で生じる誤差は？
 ①約3万3000年で1日
 ②約3300年で1日
 ③誤差は生じない
 ④約30万3000年で1日

■ 第3章 一付 録一

Q31) 明治の改暦（旧暦から新暦への変更）の一番大きな理由と言われるのは？

- ①政府の窮乏した財政対策のため
- ②欧米諸国が新暦を採用していたため
- ③四季とズレが生じる旧暦が不便であったため
- ④江戸時代が終わり新しい明治時代が始まったため

Q32) 1年が365日なのはなぜか？

- ①地球の公転周期による
- ②太陽の公転周期による
- ③太陽の自転周期による
- ④月の公転周期による

Q33) 春分の日で正しくないものはどれか？

- ①新暦では年によって月日が異なる
- ②本当は昼と夜の長さを比べると昼の方が少し長い
- ③同じ年でも国によって月日が異なることがある
- ④旧暦では毎年同じ月日となる

Q34) 昔から現在に至るまで、2月が閏年の日数調整に充てられてきています。これはかつて2月が年末とされた時代の暦に由来しますが、その暦は次のうちどれか？

- ①古代エジプトのシリウス星暦
- ②古代ローマのヌマ暦
- ③古代ギリシャのアッティカ暦
- ④中国漢時代の太初暦

Q35) 1月の英語（January）の語源は次のうちどれか？

- ①メソポタミアのジョン大司教
- ②ギリシャ皇帝ヨハネ1世
- ③オリエントの聖ジャンネティクス僧
- ④ローマ神話のヤヌス神

Q36) ローマ教皇グレゴリオ13世がユリウス暦からグレゴリオ暦への切り替を実施したのは西暦1582年でしたが、その理由として正しいのは次のうちどれか？

- ①三十年戦争の終結日をあらためて10月15日とするため
- ②コペルニクスの地動説に基づく計算でユリウス暦の誤差が発見されたため
- ③ガリレオの著書「天文対話」に関する裁判の判決に従って行われた。
- ④宗教的意味合いのある春分の日が10日ほどずれて支障があったから。

Q37) 日本には、初代天皇の神武天皇が即位した年を紀元とする数え方があります。

その紀元の年は西暦の何年にあたるとされているか？

- ①紀元前660年
- ②紀元前330年
- ③西暦330年
- ④西暦660年

Q38) 旧暦では定期的に閏月がめぐつてくるが、その周期は概ね次のどれか？

- ①約3年に1度
- ②約5年に1度
- ③約7年に1度
- ④約9年に1度

Q39) 日本がグレゴリオ暦（太陽暦）を採用したのは明治6（1873）年1月からですが、そのときの記述として正しいのはどれか？

- ①前の年の12月は41日まであった
- ②前の年の12月は2日しかなかった
- ③その年の1月は33日まであった
- ④その年の1月は18日しかなかった

- Q40) 明治憲法下では「祝日」と「大祭日」が区別されていました。当時、大祭日として定められていたのは次のどれか？
- ①紀元節（神武天皇即位日。2月11日）
 - ②天長節（現在でいう天皇誕生日）
 - ③春季皇霊祭（現在の春分の日に当たる日）
 - ④四方拝（1月1日）
- Q41) 海外に関する次の記述のうち、間違っているものは次のどれか？
- ①フランス革命暦では、一週間は10日と定められていた
 - ②アメリカ合衆国は、独立当初からグレゴリオ暦である
 - ③イギリスは、グリニッジ子午線が国際標準となった年までストーンヘンジ暦を採用していた
 - ④中国では、曜日を「一・二・三・四・五・六・日」で表現する
- Q42) 暦に関する次の記述のうち間違っているものはどれか？
- ①ISO861とは日付と時刻の表記に関する国際規格で、この中に日本の六曜の定義も明記されている
 - ②「みどりの日」が「昭和の日」に変更・実施されたのは平成19年からである
 - ③西暦2033年秋から翌年春にかけて、日本の旧暦の月名が決定できない問題を旧暦2033年問題という
 - ④グレゴリオ暦では、3300年経つと1日の誤差を生じる計算になる
- Q43) 西暦2400年はうるう年か否か正しい解釈は次のどれか？
- ①1000で割り切れないのでうるう年でない
 - ②400で割り切れるのでうるう年でない
 - ③1000で割り切れないのでうるう年である
 - ④400で割り切れるのでうるう年である
- Q44) 六曜を全て答えよ
- Q45) 立春、立夏、立秋、立冬はそれぞれ何月にあるか？
- Q46) 十二支を全て答えよ
- Q47) 2月29生まれの誕生日はいつくる？
- Q48) 建国記念の日が2月11日であるのは「日本書紀」で述べられていることが基となっている。その基とは何か？
- Q49) 現在の建国記念の日はいつから祝日として適用されるようになったか？
- Q50) 次の内二十四節気該当しないものはどれか？
- ①雨水 ③穀雨
 - ②啓蟄 ④入梅
- Q51) 八十八夜とはいつから数えて88日目のことか？
- Q52) カレンダーの日はいつか？
- Q53) 印刷用語のDTPは何の略か？
- ①Digital Top Publish
 - ②Data to plate
 - ③Desk Top Publishing

■ 第3章 一付 録一

Q54) 印刷用語のCTPは何の略か？

- ①Computer To Plate
- ②Customer To Publish
- ③Create Top Publish

Q55) オフセット印刷にて用いるプロセスカラーの略は次のうちどれか？

- ①CMYK ③YMCA
- ②BMKY

Q56) 祝日法の改正により、9月15日の「敬老の日」はいつになったか？

- ①9月の第2月曜日
- ②9月の第3月曜日
- ③秋分の日の前日

Q57) 洋紙のJIS規格サイズ、大きいもの順になっているのは次のうちどれか？

- ①A判→46判→菊判
- ②菊判→A判→46判
- ③46判→A判→菊判
- ④46判→菊判→A判

Q58) 洋紙の「46判70kg」はA判にすると何kgになるか？

- ①44.5kg ③46.5kg
- ②45.5kg

Q59) 日本が現在使用している太陽暦を採用したのは明治何年？

- ①明治元年 ③明治5年
- ②明治3年

Q60) 元旦とはいつのこと？

- ①1月1日 ③1月1日の正午
- ②1月1日の朝

Q61) DTPソフト「イラストレーター」の販売会社「Adobeシステムズ」の発音は？

- ①アドベシステムズ
- ②アドブシステムズ
- ③アドビスシステムズ

Q62) カレンダーのスペルは？

- ①Calender
- ②Carendar
- ③Calendar
- ④Carendar
- ⑤Kalender

Q63) 「こよみ」の語源は？

- ①個人を占い読み解く「個読み」の意味から
- ②過去に記録を残し「過去読み」と言われていたから
- ③日を数える「日読み」を「かよみ」と読んだことから
- ④カレンダーのサンスクリット語が「カヨミー」であることから

Q64) 実際の季節感と二十四節気がずれている理由は？

- ①中国北部の気候に合わせ作られたものをそのまま使用しているため
- ②新暦と旧暦で月日がずれているため
- ③地球の公転周期が正確には楕円軌道であるため
- ④古代に作られたものを、気候の変化した現在でも使用しているため

Q65) 「仏滅」の由来と言われているものは？

- ①仏様の命日で、仏が減するという意味から
- ②古代インド国王「ブトゥー」の命日でブトゥーが減するという意味から
- ③弘法大師空海の命日で、仏が減するという意味から
- ④全てがむなしという物滅という意味から

- Q66) お正月に餅を食べる由来と言われているものは？
 ①当時貴重であったもち米を年に1回食し新年を祝ったから
 ②心臓をかたどった餅を食べ生命の再生を祈ったから
 ③「福を持つ」の「もつ」と「もち」の語呂合わせによる
 ④中国唐の時代に月をかたどった月餅を食し、新年を祝っていたから
- Q67) 中秋の名月の説明として正しいものはどれか？
 ①必ず旧暦8月15日である
 ②必ず満月である
 ③必ず旧暦9月15日である
 ④必ず天気晴朗、とされていたことが由来
- Q68) 暦とも深く関わる天文台。この「天文台」という呼称が日本で初めて採用されたのは天明2年（1782年）であるが、場所はどこか？
 ①牛込天文台 ③神田天文台
 ②本所天文台 ④浅草天文台
- Q69) 日本の一般官庁が日曜日と土曜日の午後を休日とするようになったのはいつから？
 ①明治9年 ③明治7年
 ②明治8年 ④明治6年
- Q70) 明治改暦の際、庶民にも判り易く仕組みを説明した解説書「改暦辨（かいてきべん）」は当時として驚異的な20万部以上が売れたと言われるが、その作者は？
 ①森有礼 ③ジョン万次郎
 ②福澤諭吉 ④大隈重信
- Q71) 東経135度の明石における平均太陽時を本邦標準時として国内の時刻が統一されたのは明治何年か？
 ①明治6年 ③明治12年
 ②明治9年 ④明治21年
- Q72) 新暦が正式採用される前、明治4年から既に公的機関において昼12時の時報が鳴らされていたが、その音源は何か？
 ①大砲 ③ラッパ
 ②サイレン ④鐘
- Q73) 古来の手書きによる暦（書写暦）から発展し、暦の印刷（版を用いた暦）を最初に行ったのは三島暦だと推測されていますが、なぜ都から遠く離れた三島であったのか。次の理由の中で間違いはどれか？
 ①鎌倉幕府との密接な関係
 ②都（京都）から暦の専門家が移り住んでいた
 ③都（京都）から遠いので朝廷からの圧力を受けにくい
 ④東国一円に暦を欲する新興の武士が大勢居住していた
 ⑤中国の王朝から特別に贈られた精密な観測器や秘伝の計算法、印刷技術を有していた
- Q74) 現在、私的に作成されている一般的な旧暦とは次のどれか？
 ①寛政暦 ③宝暦
 ②天保暦 ④貞享暦

■ 第3章 一付 録一

- Q75) 寛永年間に始まった「伊勢暦」は急速に全国に普及しますが、次の理由の中で間違いはどれか？
- ①全国津々浦々まで毎年年末にきちんと配られた
 - ②他の地方暦に載っていない役立つ暦註が記されていた
 - ③体裁が経本のように折り畳まれていて取扱いが容易であった
 - ④その年の干支をはじめ絵や記号が多数掲載されて当時の庶民が読みやすかった
- Q76) 日の出時刻とは太陽がどのように見える状態か？
- ①太陽の上辺が地平線に接した瞬間
 - ②太陽の下辺が地平線に接した瞬間
 - ③太陽の中心が地平線に接した瞬間
- Q77) 聖書によると、イエスキリストは十字架にかかった日から3日目に復活します。3日目に救世主として「復活」こそが神の栄光を示す最高の日として「主の日」とされましたが、この「主の日」は何曜日に当たるでしょう？
- Q78) 3月6日頃～春分までの期間で大地が暖まり冬眠していた虫が穴から出てくる頃を二十四節気で何と書く？
- Q79) 十二支は順番や方角・時刻などに当てて使われていますが、「卯(う)」に関して正しいのは？
- ①北0時前後 ③東6時前後
 - ②北東3時前後 ④北西21時前後
- Q80) 本来エイプリルフールとされるのは？
- ①4月1日の午前中
 - ②4月1日の正午
 - ③4月1日の午後
 - ④4月1日が終わる直前
- Q81) 法事や婚礼の厄日とされ、干支の十干と十二支の五行が合う日をさし、壬子(みずのえね)の日から癸亥(みずのとい)の日までの12日間のうち丑、辰、午、戌を間日(まび)と称して除いた残りの八日をなんというか？
- Q82) 二十四節気の一つで「陽気地上に発し、雪氷とけて雨水となれば也」とされる頃を何というか？
- Q83) 二十四節気の一つで「暑氣いたりつまりたるゆえんなれば也」とされる頃を何というか？
- Q84) 季節の移り変わりの目安となる「季節点」のひとつ。台風が来て天気が荒れやすいとされている立春から数えて210日目のことを何というか？
- Q85) 五節供の一つで旧暦正月七日に行われ、「七草粥」を食べて祝う節句を何というか？
- Q86) 田植えの終了を示す日としての役割がある、七十二候の一つを何というか？
- Q87) 現在の法律で、もし5月1日が祝日になると最高で何連休になるか？(土曜日を休みとした場合)
- ①5連休 ③9連休
 - ②7連休 ④10連休
- Q88) 旧暦で1月1日の六曜は？
- ①大安 ④先勝
 - ②友引 ⑤毎年異なる
 - ③仏滅

- Q89) 年間で祝日の無い月は何回あるか？
 ① 1 回 ③ 3 回
 ② 2 回 ④ 4 回
- Q90) 昭和100年は西暦何年か？
 ① 2020年 ③ 2024年
 ② 2022年 ④ 2025年
- Q91) 次のうち二十四節気でないものは？
 ① 処暑 ③ 立冬
 ② 節分 ④ 白露
- Q92) 次の説明のなかで間違っているものはどれか？
 ① 日本の建国記念の日は、「政令で定める日」とされており、毎年同じ日ではない
 ② 7月4日はアメリカの独立記念日で、アメリカ合衆国の祝日である
 ③ 7月14日はフランス革命記念日で、フランスの祝日である
 ④ 10月1日は中国の国慶節（建国記念日）で中国の祝日である
- Q93) 六曜の記号で“○”は大安であるが、“●”は何を表すか？
 ① 先勝 ③ 友引
 ② 先負 ④ 仏滅
- Q94) 次の説明のうち間違っているものはどれか？（現在とは2010年4月現在を指す）
 ① 大正天皇の誕生日は8月31日である
 ② 昭和天皇の誕生日は現在の「みどりの日」である
 ③ 明治天皇の誕生日は現在の「文化の日」と同じ日である
 ④ 大正時代は、当時の「天長節」祝日を10月31日とされた時期がある
- Q95) 暦に記載される日時、方位などの吉凶や、その日の運勢などのことを何というか？
- Q96) 太陽年を日数あるいは太陽の黄道上の視位置によって24等分し、その分割点を含む日に季節を表す名称を付したものを何というか？
- Q97) 土用の丑の日に鰻を食べる習慣は誰が最初にはじめたか？
- Q98) 3月3日は桃の節句。5月5日は端午の節句。では、9月9日は何の節句か？
- Q99) 一番早い成人の日は次のうちどれか？
 ① 1月7日 ③ 1月9日
 ② 1月8日 ④ 1月10日
- Q100) 国民の祝日に関する法律について、(a) と (b) に相当する文言を次の選択肢のなかから埋めよ
 第一条
 (a) と (b) を求めてやまない日本国民は、美しい風習を育てつつ、よりよき社会、より豊かな生活を築きあげるために、ここに国民こぞって祝い、感謝し、又は記念する日を定め、これを「国民の祝日」と名づける。
 ① 愛 ④ 誠
 ② 平和 ⑤ 自由
 ③ 正義

以 上

17 今日は何の日!?!【冠デー】

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
1日	元日	テレビ放送記念日	切抜きの日	エイプリル・フール	扇の日	ねじの日
2日	皇室一般参賀	キャンドルマス	出会いの日	CO ² 削減の日	緑茶の日	プロポーズの日
3日	ひとみの日	節分※	桃の節句	いんげん豆の日	憲法記念日	寄席の日
4日	官公庁御用始め※	世界対がんデー	ミシンの日	交通反戦デー	みどりの日	ムシの日
5日	囲碁の日	長崎二十六聖人殉教の日	珊瑚の日	長崎茂雄デビューの日	こどもの日	世界環境デー
6日	東京消防出初め式	海苔の日	世界一周記念日	城の日	コロケの日	楽器の日
7日	七草	北方領土の日	消防記念日	世界保健デー	コナモンの日	緑内障を考える日
8日	どんと焼き	事始め	国際婦人デー	参考書の日	ゴーヤーの日	へその緒の日
9日	とんちの日	ふく(ふぐ)の日	3.9(サンキュー)デー	左官の日	アイスクリームの日	ロックの日
10日	110番の日	ニットの日	サボテンの日	四万十の日	愛鳥の日	時の記念日
11日	鏡開き	建国記念の日	パンダ発見の日	メートル法公布記念日	長良川鵜飼開きの日	傘の日
12日	スキーの日	レトルトカレーの日	咲顔(えがお)の日	世界宇宙飛行の日	国際看護師の日	恋人の日
13日	たばこ・ピース発売	苗字制定記念日	新選組の日	水産デー	愛犬の日	鉄人の日
14日	十四日年越し	聖バレンタインデー	ホワイトデー	パートナーデー	ゴールドデー	手羽先記念日
15日	小正月	コマーシャルフォトの日	世界消費者権利デー	ヘリコプターの日	国際家族デー	生姜の日
16日	藪入り	初の天気図発行	財務の日	ヴィラデスト・田園記念日	旅の日	さくらんぼの日
17日	防災とボランティアの日	天使の囁きの日	聖パトリックデー	なすび記念日	世界電気通信記念日	砂漠化および干ばつと戦う世界デー
18日	都バス記念日	嫌煙運動の日	点字ブロックの日	発明の日	国際親善デー	海外移住の日
19日	家庭消化器点検の日	万国郵便連合加盟記念日	ミュージックの日	食育の日	小諸・山頭火の日	ロマンスの日
20日	二十日正月	アレルギーの日	上野動物園開園記念日	郵政記念日	ローマ字の日	難民の日
21日	初大師	国際母語デー	春分の日※	民放の日	リンドバーク翼の日	がん支えあいの日
22日	飛行船の日	世界友情の日	世界水の日	アースデー・地球の日	ガールスカウトの日	ボウリングの日
23日	電子メールの日	税理士記念日	世界気象デー	サン・ジョルディの日	ラブ・レターの日	沖縄慰霊の日
24日	法律扶助の日	地雷を考える日	ホスピタリティデー	盲導犬の日	伊達巻の日	UFOの日
25日	初天神	箱根用水完成の日	電気記念日	国連記念日	別所線の日	住宅デー
26日	文化財防火デー	パナマ運河開通記念日	カチューシャの歌の日	リメンバー・チェルノブイリデー	源泉かけ流し温泉の日	露天風呂の日
27日	国旗制定記念日	冬の恋人の日	さくらの日	絆の日	小松菜の日	ちらし寿司の日
28日	衣類乾燥機の日	バスケットの日	ミツ矢サイダーの日	シニアアースデー	ゴルフ記念日	貿易記念日
29日	タウン情報の日	富士急の日(閏年)	作業服の日	昭和の日	こんにゃくの日	佃煮の日
30日	3分間電話の日	/	国立競技場落成記念日	図書館記念日	ゴミゼロの日	ハーftime・デー
31日	愛妻感謝の日	/	ザンマイエローバインの日	/	世界禁煙デー	/

※その年によって日にちが変わることがあります。

【冠デー】

国が定めたものから企業や団体が決めたものまで、1年365日、毎日のように記念日があり、これを「冠デー」と呼びます。毎月の日付で決まっているものや週ごとに決まっているもの、1年に1回しかない記念日もあります。（平成22年3月現在）

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1日	童謡の日	水の日	防災の日	日本酒の日	犬の日	映画の日
2日	うどんの日	ハーブの日	宝くじの日	杜仲の日	タイツの日	原子炉の日
3日	ソフトクリームの日	ハサミの日	クチコミの日	登山の日	文化の日	カレンダーの日
4日	アメリカ独立記念日	箸の日	クラシック音楽の日	都市景観の日	ユネスコ憲章記念日	聖バルバラの日
5日	穴子の日	タクシーの日	石灰の日	アウトドアスポーツの日	縁結びの日	納めの水天宮
6日	公認会計士の日	広島原爆の日	黒の日	国際協力の日	お見合い記念日	姉の日
7日	七夕	鼻の日	クリーナーの日	世界人間居住デー	鍋の日	国際民間航空デー
8日	質屋の日	そろばんの日	国際識字デー	足袋の日	世界都市計画の日	事納め
9日	ジェットコースター記念日	長崎原爆の日	菊の節句	世界郵便デー	消防の日	障害者の日
10日	納豆の日	地球市民の日	全国下水道促進デー	銭湯の日	エレベーターの日	世界人権デー
11日	植物油の日	ガンバレの日	警察相談の日	獣医と一緒に!の日	鮭の日	胃腸の日
12日	洋食器の日	国際青少年デー	宇宙の日	豆乳の日	洋服記念日	漢字の日
13日	ナイスの日	函館・夜景の日	司法保護記念日	サツマイモの日	いいひざの日	大掃除の日
14日	ゼリーの日	専売特許の日	グリーンデー	鉄道の日	医師に感謝する日	吉良邸討ち入りの日
15日	中元	終戦記念日	ひじきの日	きのこの日	七五三	観光バス記念日
16日	虹の日	月遅れ盆送り火	オゾン層保護のための国際デー	世界食糧デー	国際寛容デー	紙の記念日
17日	漫画の日	パイナップルの日	国際平和デー	貧困撲滅のための国際デー	将棋の日	ライト兄弟の日
18日	光化学スモッグの日	ビーフンの日	かいわれ大根の日	統計の日	土木の日	国際移住者の日
19日	やまなし桃の日	バイクの日	苗字の日	スウィーテストデー	いい息の日	日本初飛行の日
20日	海の日	誕生記念筆の日	空の日	リサイクルの日	世界こどもの日	ブリの日
21日	日本三景の日	パーフェクトの日	ファッション・モデルの日	あかりの日	世界テレビデー	回文の日
22日	げたの日	チンチン電車の日	日本救世軍創立記念日	パラシュート記念日	いい夫婦の日	改正民法公布記念日
23日	ふみ月ふみの日	白虎隊の日	秋分の日※	電信電話記念日	勤労感謝の日	天皇誕生日
24日	劇画の日	パニョーグルトの日	清掃の日	国際連合デー	松葉ガニの日	クリスマス・イヴ
25日	かき氷の日	サマークリスマス	10円カレーの日	世界パスタデー	ハイビジョンの日	クリスマス
26日	ユーレイの日	ナミビアの日	ワープロ記念日	原子力の日	ペンの日	ボクシングデー
27日	スイカの日	寅さんの日	女性ドライバーの日	義母の日	ノーベル賞制定記念日	ピーターパンの日
28日	菜っ葉の日	バイオリンの日	プライバシーデー	速記の日	税関記念日	身体検査の日
29日	アマチュア無線の日	焼肉の日	クリーニングの日	ホームビデオ記念日	いい肉の日	シャンソンの日
30日	梅干の日	ハッピーサンシャインデー	クミンの日	香りの記念日	本みりんの日	地下鉄記念日
31日	クールジャパンの日	野菜の日	/	ハロウィン	/	大晦日

※その年によって日にちが変わることがあります。

● 編集後記 ●

月日の経つのは早いもので「カレンダー虎の巻」初刊の発刊から3年が経ちました。当時、皆様方から寄せられたアンケート結果が激励や賞賛ばかりで、本当に勇気づけられたことが思い出されます。

「はじめに」の文中にもありますように、青年部会内にて同書を更により良いものにしたいとの気運が高まり、アンケート内にある皆様方からの要望やアドバイスを参考にさせて頂きながら、改訂版を作る運びとなりました。

青年部会の会員各自がそれぞれに責任を果たし、販売店とメーカーの垣根を越え、部員同士が結束を固めた結果、完成したのが本冊子であると自賛しておりますが、もちろん私たちだけで成し得たものではありません。ひとえに全協会員皆様方からの暖かいご支援の賜物であると心より感謝しております。

全協青年部会は、業界の更なる発展を切望する若手経営者や将来の経営者、会社の幹部等の集まりです。製販の垣根を越え、年に一度の総会や臨時総会、更には各支部に於きまして、情報交換会やレクリエーションで親睦を深め、勉強会や講師によるセミナー等を自主開催し、積極的に各自が経営者としての自己啓発にも努めています。通年で新会員、仲間を募集しておりますので、全協会員様のご令息、後継される方が積極的に仲間に加わって頂けることを心より切望いたします。

最後に、不景気の波が押し寄せている昨今、業界も決して順風満帆ではありませんが、元気で明るく前向きに、今後も更なる長い歴史を築いて行きましょう。

発刊にご協力を頂いたすべての方々に厚く御礼を申し上げますと共に、皆様方の大いなるご活躍を祈念いたします。

全協青年部会一同



<http://www.zenkyo.net>

平成22年（2010） 4月8日発行

発行者 平井 隆二

発行所 全国団扇扇子カレンダー協議会青年部会

事務局 〒110-0016 東京都台東区台東1-27-11

佐藤第二ビル204号

電 話 03-5816-5035

F A X 03-5816-5036

Eメール jcal@sage.ocn.ne.jp

- 表紙題字 上野 恒雄（株）伏見上野旭昇堂 会長
- 印刷・製本 有限会社 アート印刷

本書の無断複写（コピー）は著作権法により禁じられています。